

2023年度 決算資料

2024年5月14日

株式会社 TBS ホールディングス

2023年度 通期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

TBSグループ中期経営計画2023の実績

今後の重点施策

参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先
〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号 株式会社TBSホールディングス 社長室 広報・IR部
Tel : 03-3746-1111 (代表) HP : <https://www.tbsholdings.co.jp/ir/>

2023年度 通期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

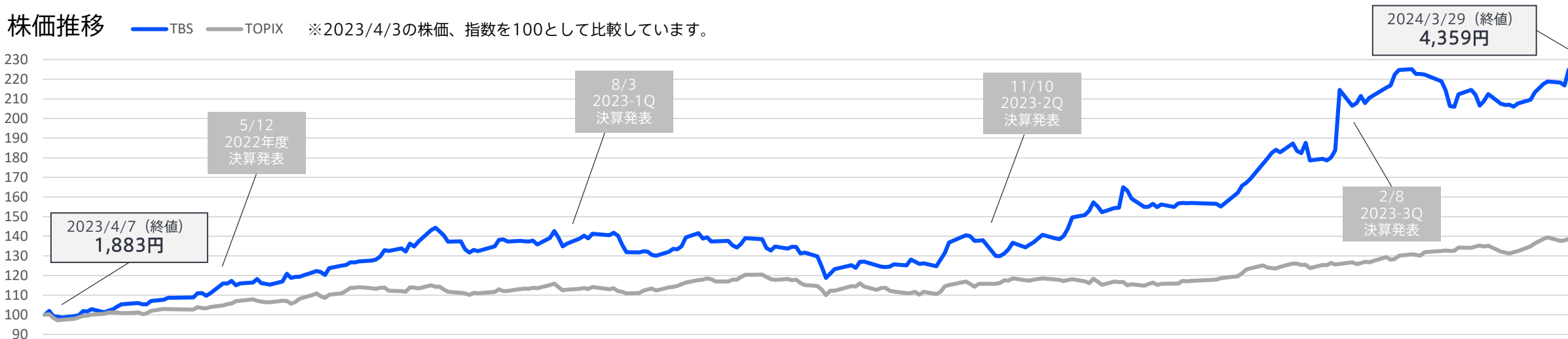
株主還元

TBSグループ中期経営計画2023の実績

今後の重点施策

参考資料

株価推移



新型コロナウイルス
「5類」へ移行

世界陸上2023
ブダペスト

アジア大会
中国・杭州

能登半島地震

日経平均株価
史上初の4万円台

2023年

4月

4/21
Amazon Original
「風雲!たけし城」
世界配信スタート

5月

5/9
文字起こしエディタ「もじこ」が「ITreviews Grid Award 2023 Spring」で「Leader」受賞

5/14
SDGsプロジェクト「地球を笑顔にするWEEK」第6弾を実施

6月

6/22
Netflixシリーズ「離婚しようよ」世界配信スタート

6/29
USEN-NEXT HOLDINGS (現U-NEXT HOLDINGS)と資本業務提携強化に基づくパートナーシップ協定締結

6/29
やる気スイッチグループホールディングスに出資、連結子会社化

7月

7/5
「TBS GAMES」ティザーサイトオープン、ゲーム事業に本格参入

8月

8/31
「TBSグループ統合報告書2023」発行

9月

9/22
民放連賞優秀賞「メディアプランチ」と「メタ付与AIプラットフォーム」がダブル受賞

10月

10/2
ブランドメッセージ「ときめくときを。」作成

10/8
全国28局ネットアニメ枠新設

10/16
「SASUKE」を基にした種目が2028年ロサンゼルス五輪近代五種に採用

10/25
TBSグループの新たな共通ID「TBS ID」サービス開始

11月

11/5
SDGsプロジェクト「地球を笑顔にするWEEK」第7弾を実施

11/6
「特別利益（投資有価証券売却益）の計上見込みに関するお知らせ」発表

11/10
「自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に関するお知らせ」発表

11/28
「人権小委員会の設置および人権デュー・ディリジェンスの実施について」発表

12月

12/1
THE SEVEN専用スタジオ「M6スタジオ」完成

12/11
株主優待制度の拡充を発表

12/23
Studio TooN 初連載作品が「LINEマンガ」にて配信スタート

12/25
「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」初選定

2024年

1月

1/1
「ニューイヤー駅伝」CO2排出実質ゼロで放送

1/4
ブランドメッセージ「ときめくときを。」キービジュアル作成

1/25
松竹との資本業務提携に合意

2月

2/6
気候変動関連情報開示における国際的な評価基準「CDP」で日本の放送局として初めて「B」評価を獲得

2/15
THE SEVENがパーマット・プレゼンテーション社と国際共同製作に合意

3月

3/4
SLHがKNT365の株式を100%取得

3/11
「健康経営優良法人2024（ホワイト500）」に民放キー局で初認定

3/13
赤坂二・六丁目地区開発計画 新築工事着手

3/29
VFXクリエイター集団 Megalisへ資本参加

2023年度決算

- ▶ 連結全体では、増収、営業減益、経常減益。
親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益の増加などにより増益。
通期累計では過去最高の売上高を更新。
- ▶ メディア・コンテンツ事業は、スポット収入が減収となったものの、配信広告収入や有料配信収入が大幅に伸長。また、映画の大ヒットや、DVD販売が大幅に増加し、増収。
一方で、放送収入の減収に加え、番組制作費の増加などにより、減益。
- ▶ ライフスタイル事業は、やる気スイッチグループの新規連結を行い、売上高・利益ともに増加。
また、スタイリングライフグループでは、化粧品、雑貨などが伸長したことにより、増収増益。
- ▶ 不動産・その他事業は、賃料収入の増加などにより、増収増益。

2024年度 業績見通し

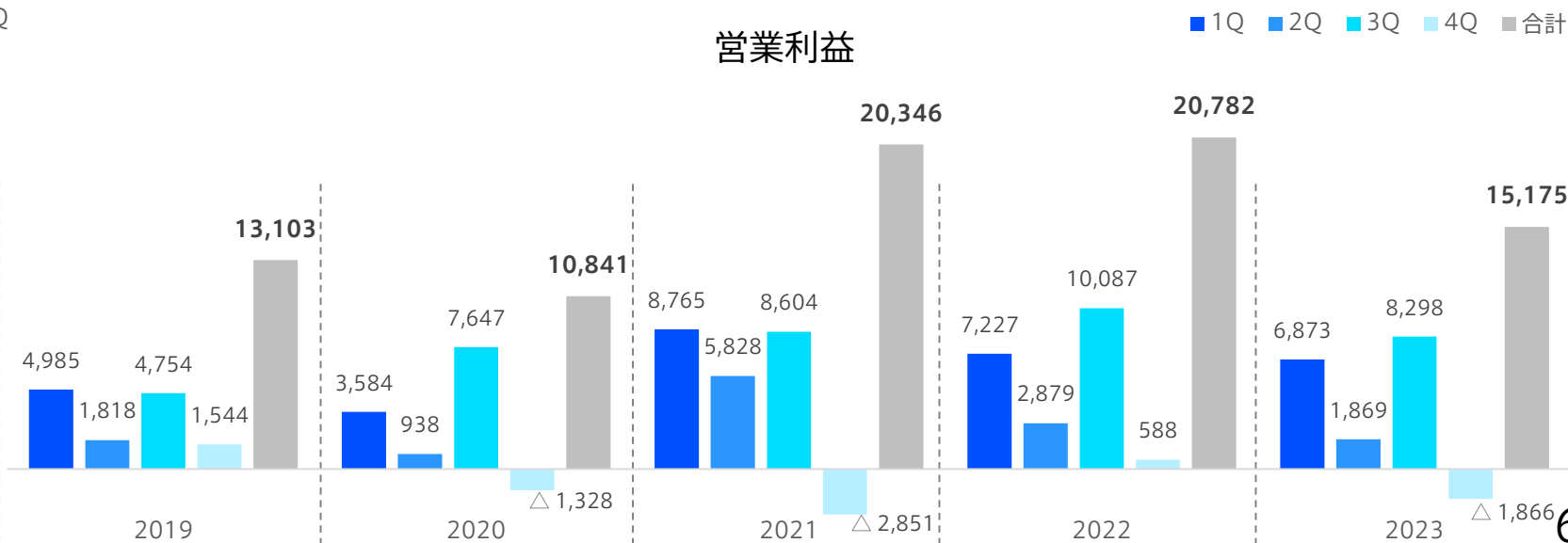
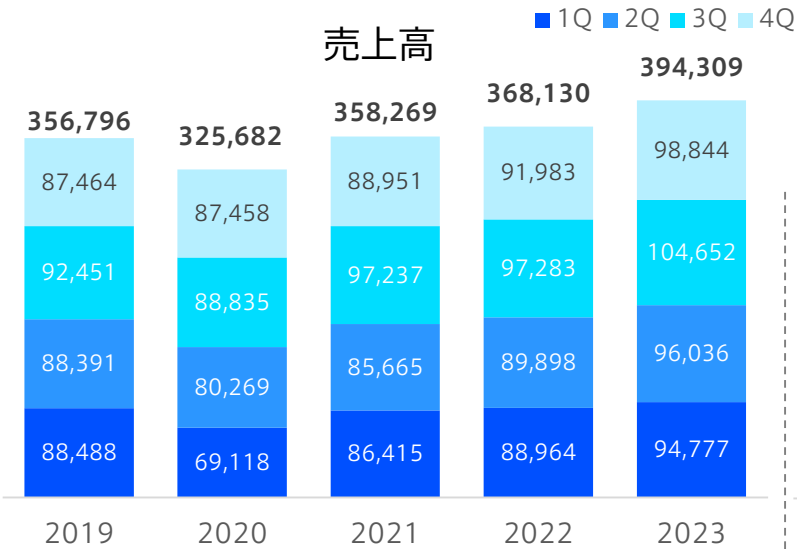
- ▶ 放送収入は前年と同水準としつつも、成長分野である配信などの拡大や、スタイリングライフグループの雑貨小売販売事業、ビューティー＆ウェルネス事業や、やる気スイッチグループの成長などを見込み、増収かつ営業利益までの増益予想。
- ▶ 「TBSグループ中期経営計画2026」の初年度として、
拡張戦略「EDGE」による成長を加速し、コンテンツポートフォリオの拡充へ。



連結全体では、増収、営業減益、経常減益。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益の増加などにより増益。

(単位：百万円)

連 結	2022年度	2023年度	前年差	増減率
売上高	368,130	394,309	+26,179	+7.1%
営業利益	20,782	15,175	△5,607	△27.0%
経常利益	35,086	27,653	△7,433	△21.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	35,182	38,126	+2,944	+8.4%



(単位：百万円)

	外部売上				営業利益			
	2022年度	2023年度	前年差	増減率	2022年度	2023年度	前年差	増減率
メディア・コンテンツ	285,230	287,854	+2,624	+0.9%	10,911	3,927	△6,983	△64.0%
ライフスタイル	66,391	89,903	+23,511	+35.4%	3,064	4,178	+1,113	+36.3%
不動産・その他	16,508	16,552	+43	+0.3%	6,798	7,066	+268	+3.9%
調整額	—	—	—	—	8	3	△5	—
連 結	368,130	394,309	+26,179	+7.1%	20,782	15,175	△5,607	△27.0%

増減要因	外部売上	営業利益
メディア・コンテンツ	TCエンタテインメント (+1,926) 日音 (+668) TBSグロウディア (+452) TBSテレビ (△574)	TBS HD (+1,247) TBSグロウディア (+876) TBSテレビ (△7,628)
ライフスタイル	やる気スイッチグループ (+17,666) スタイリングライフグループ (+5,844)	やる気スイッチグループ (+705) スタイリングライフグループ (+408)
不動産・その他	TBSテレビ (+624) TBS HD (+328) 緑山スタジオ・シティ (△839)	TBS HD (+543) TBSテレビ (+447) 緑山スタジオ・シティ (△263)

連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

メディア・コンテンツ事業は、スポット収入が減収となったものの、配信広告収入や有料配信収入の大幅な伸長に加え、映画が大ヒット。

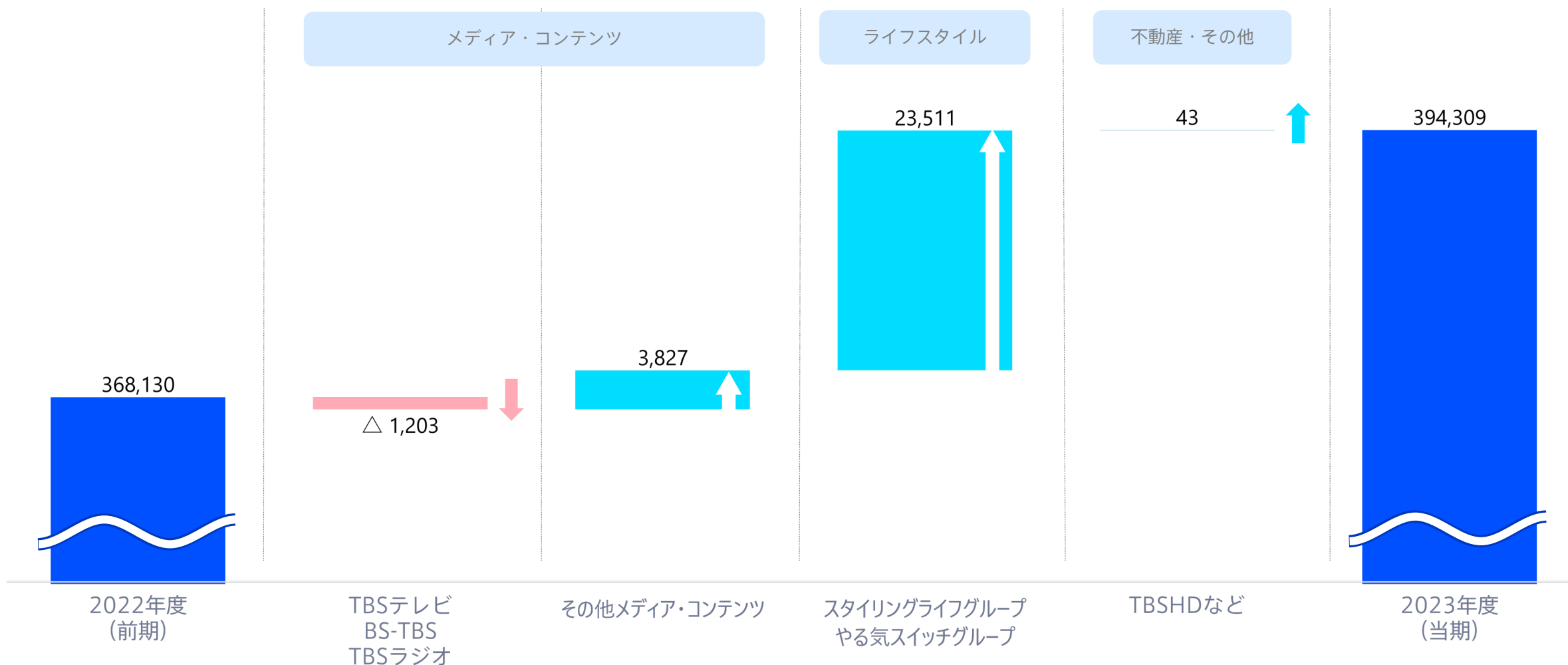
また、TBSグロウディア・TCエンタテインメントのDVD販売が大幅に増加し、増収。

ライフスタイル事業は、やる気スイッチグループの新規連結による増加に加え、スタイリングライフグループの化粧品、雑貨などの伸長により、増収。

不動産・その他事業は、賃料収入の増加などにより増収。連結全体でも増収。

■ 売上実績 ■ 増加分 ■ 減少分

(単位：百万円)

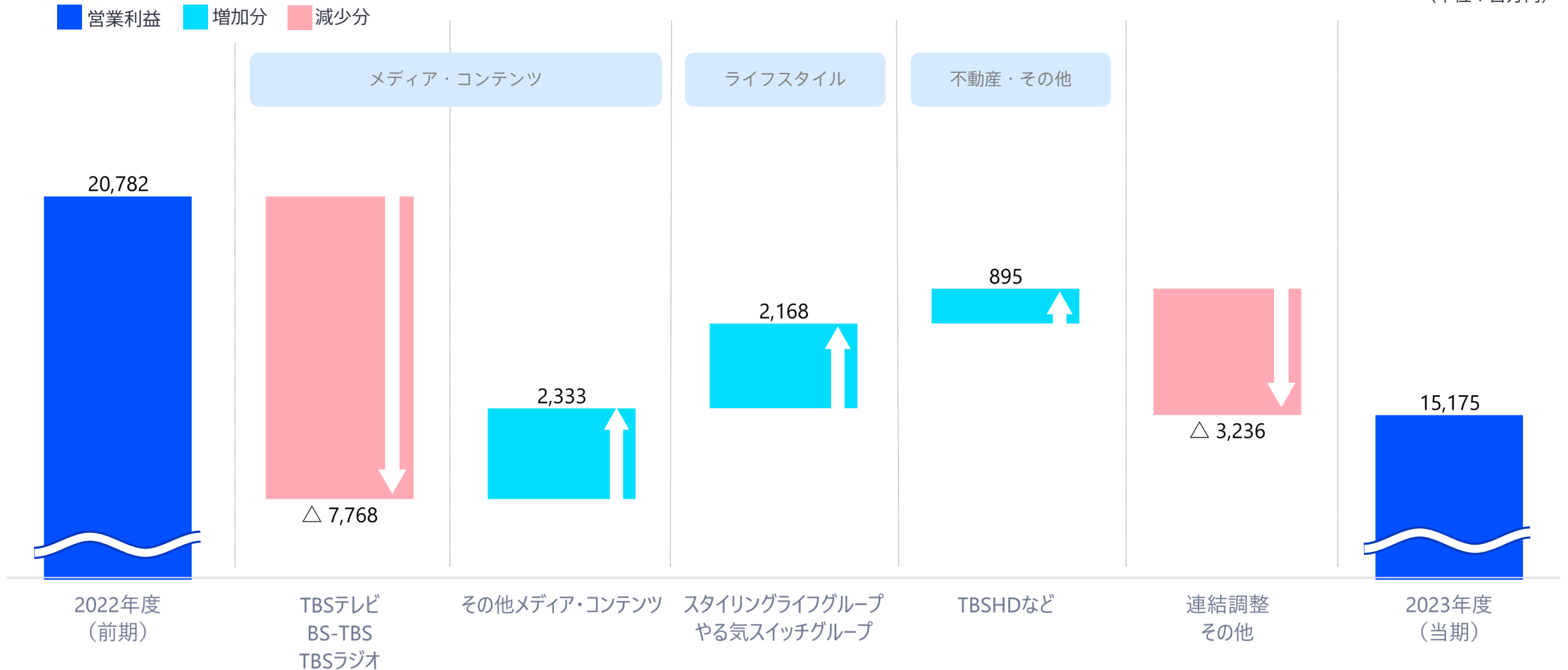


連結セグメント別 営業利益の増減要因



メディア・コンテンツ事業は、放送収入が減少する中、番組制作費などが増加し、減益。
 ライフスタイル事業は、やる気スイッチグループの新規連結に伴う増加に加え、スタイリングライフグループの化粧品、雑貨などの伸長により、増益。
 不動産・その他事業は、賃料収入の増加などに伴い増益。連結全体では減益。

(単位：百万円)

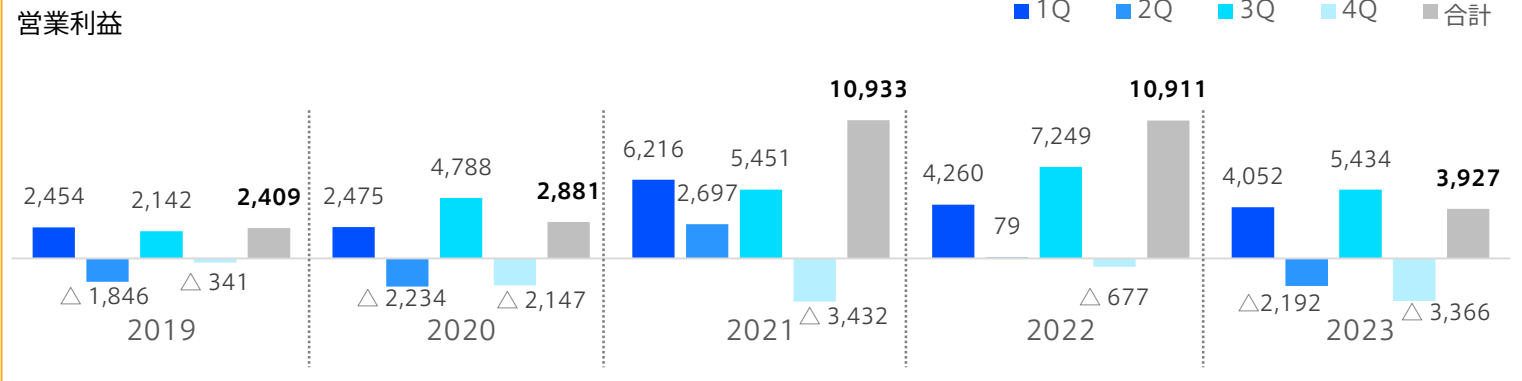
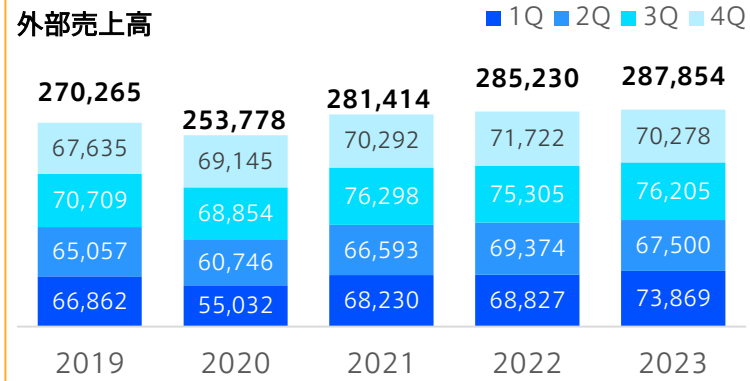


連結セグメント別 経年推移

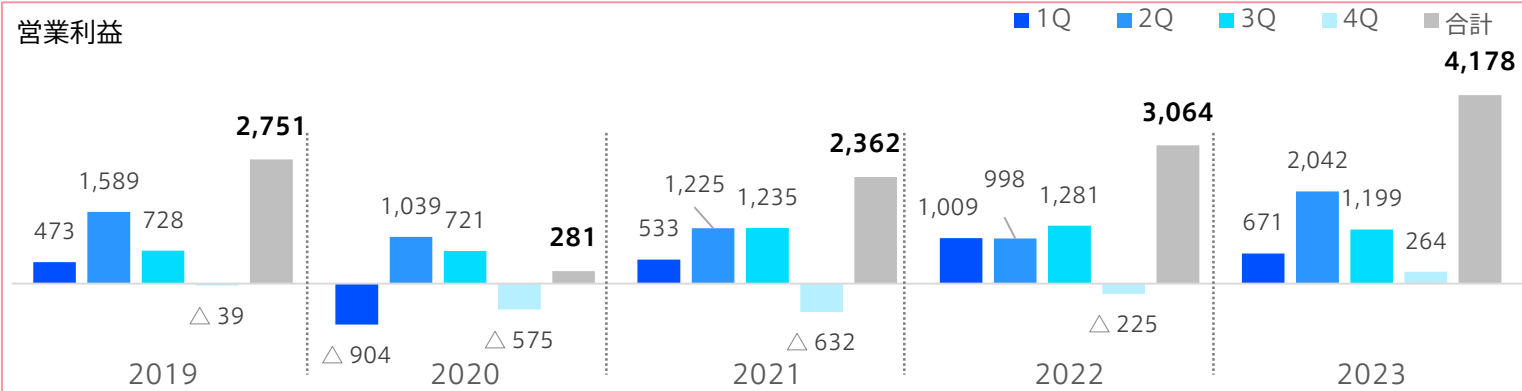
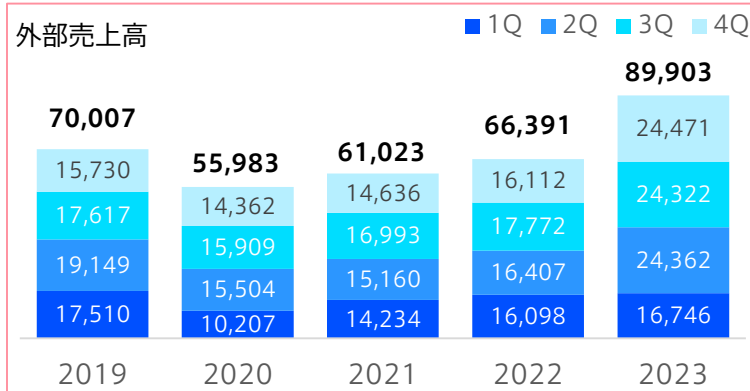
TBS

(単位：百万円)

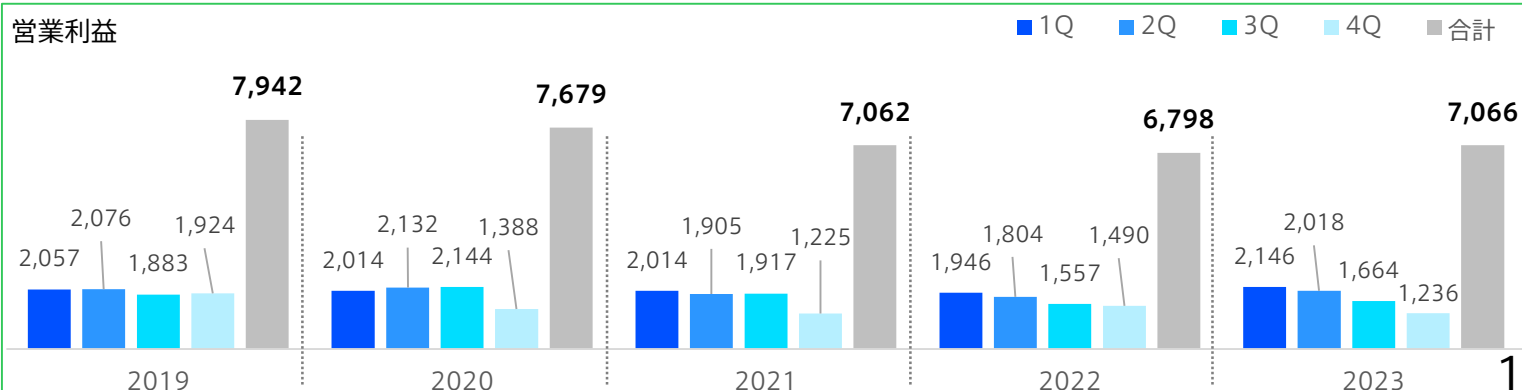
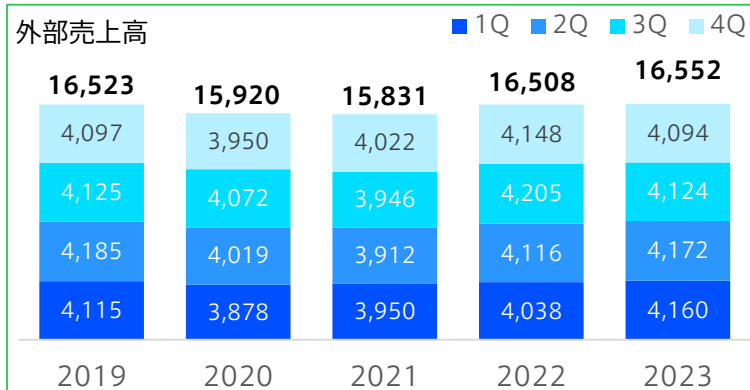
メディア・コンテンツ



ライフスタイル



不動産・その他



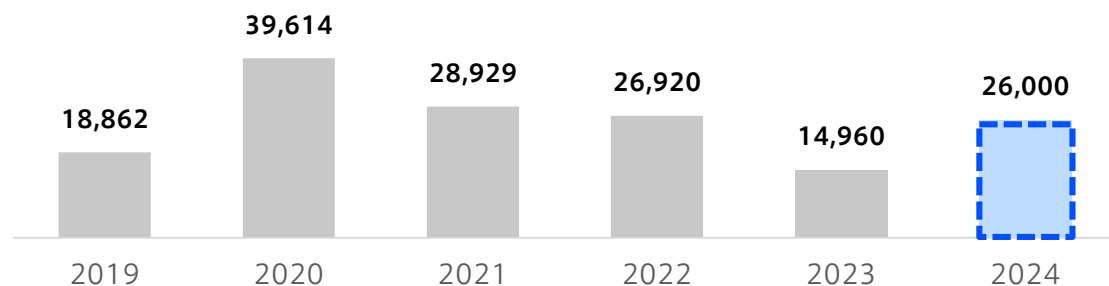
設備投資と減価償却費

TBS

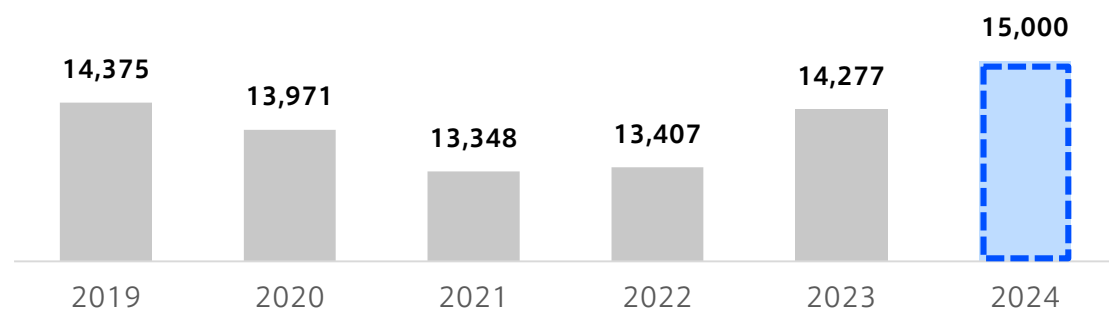
(単位：百万円)

連 結	2023年度	前 年 差	2024年度 予想
設 備 投 資	14,960	△11,959	26,000
減 価 償 却 費	14,277	+870	15,000

連結設備投資



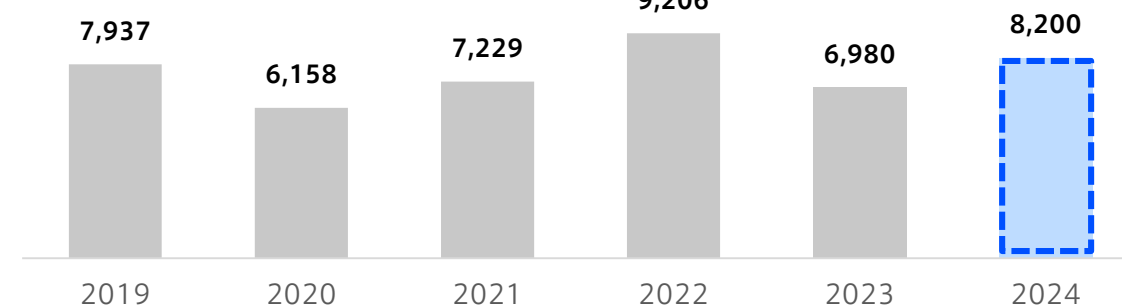
連結減価償却費



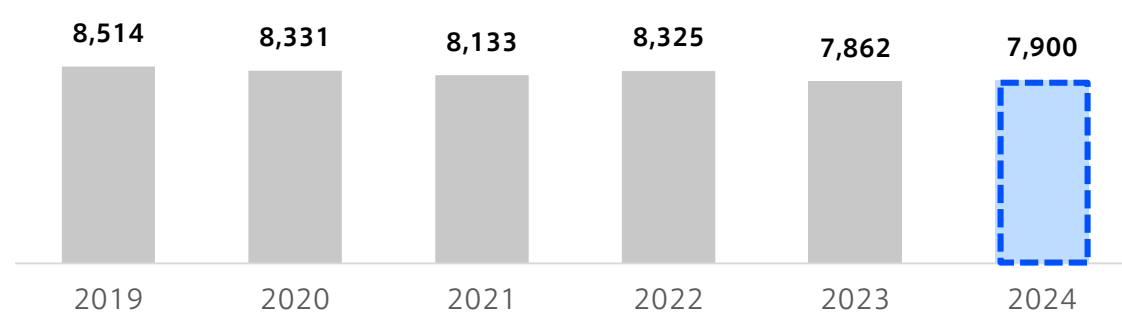
(単位：百万円)

TBSテレビ	2023年度	前 年 差	2024年度 予想
設 備 投 資	6,980	△2,226	8,200
減 価 償 却 費	7,862	△462	7,900

TBSテレビ設備投資



TBSテレビ減価償却費



テレビ部門では、スポット収入が大幅な減収となったものの、タイム収入の大型スポーツ単発や年末年始特別番組のセールス好調による増収に加え、配信広告収入や有料配信収入の大幅な伸長、メディア事業の移管により、部門全体では増収。

事業部門では、舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の公演日数の増加、劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～」の大ヒットがあったものの、メディア事業のテレビ部門への移管、「パリ・サン＝ジェルマン ジャパンツアー2022」の反動で、減収。

トータルで減収。営業利益は、スポット収入の減収に加え、番組制作費の増加などにより減益。経常利益以下も減益。

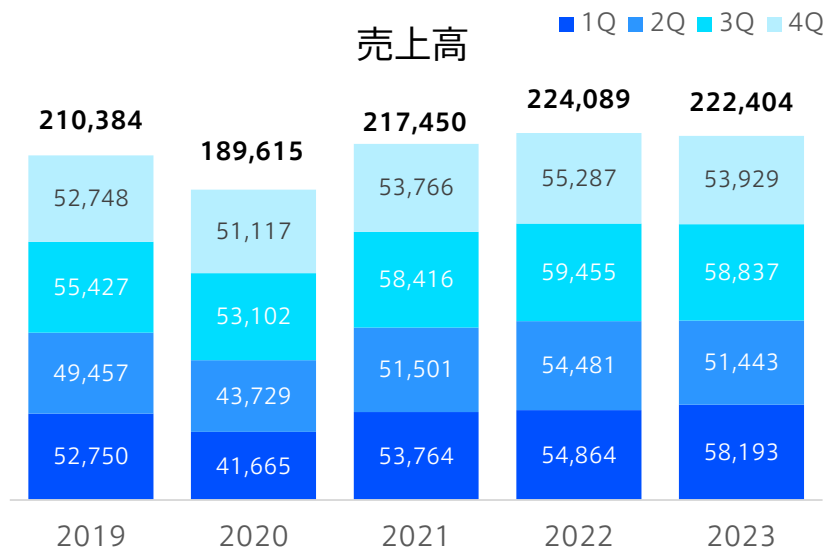
(単位：百万円)

TBSテレビ	2022年度	2023年度	前年差	増減率
売上高	224,089	222,404	△1,684	△0.8%
営業利益	14,096	6,109	△7,986	△56.7%
経常利益	16,818	8,644	△8,173	△48.6%
当期純利益	10,722	5,863	△4,859	△45.3%

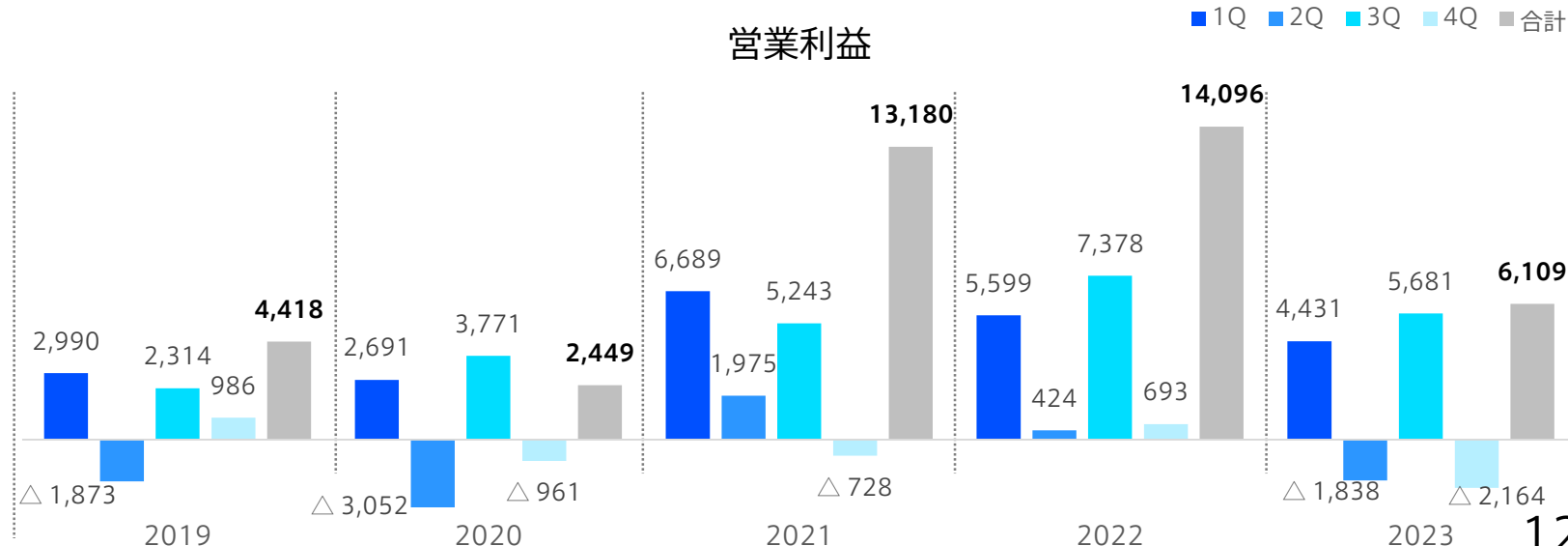
営業費用など

■ 番組原価	+2,155
■ 代理店手数料 当期29,729	△747
■ ネットワーク費	+792
■ 事業部門営業費用	△6,362
■ 特別利益（投資有価証券売却益）	当期4,478
■ 特別損失（退職給付費用、固定資産撤去費用等）	当期3,698

売上高



営業利益

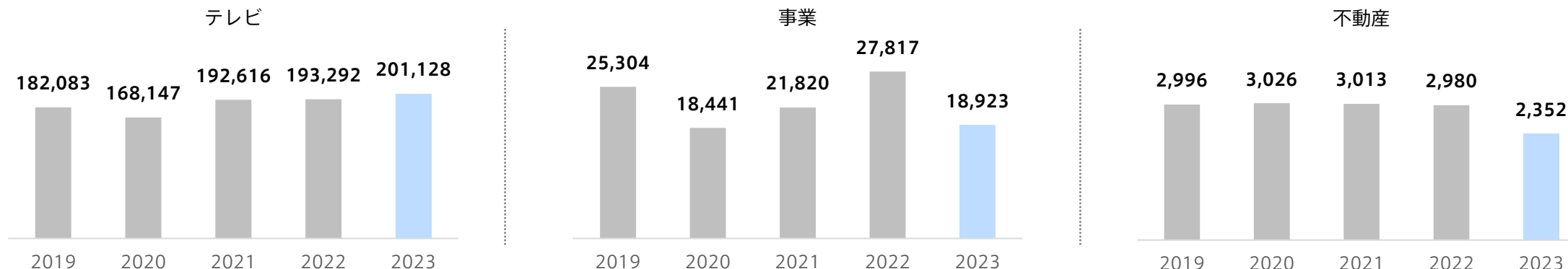


	2023年度	前年差
テレビ	201,128	+7,836
－ タイム	81,590	+1,674
－ スポット	77,777	△5,191
－ 配信広告	8,243	+2,575
－ 有料配信	12,146	+3,245
－ その他	21,371	+5,533
事業	18,923	△8,893
不動産	2,352	△627
収入合計	222,404	△1,684

(単位：百万円)

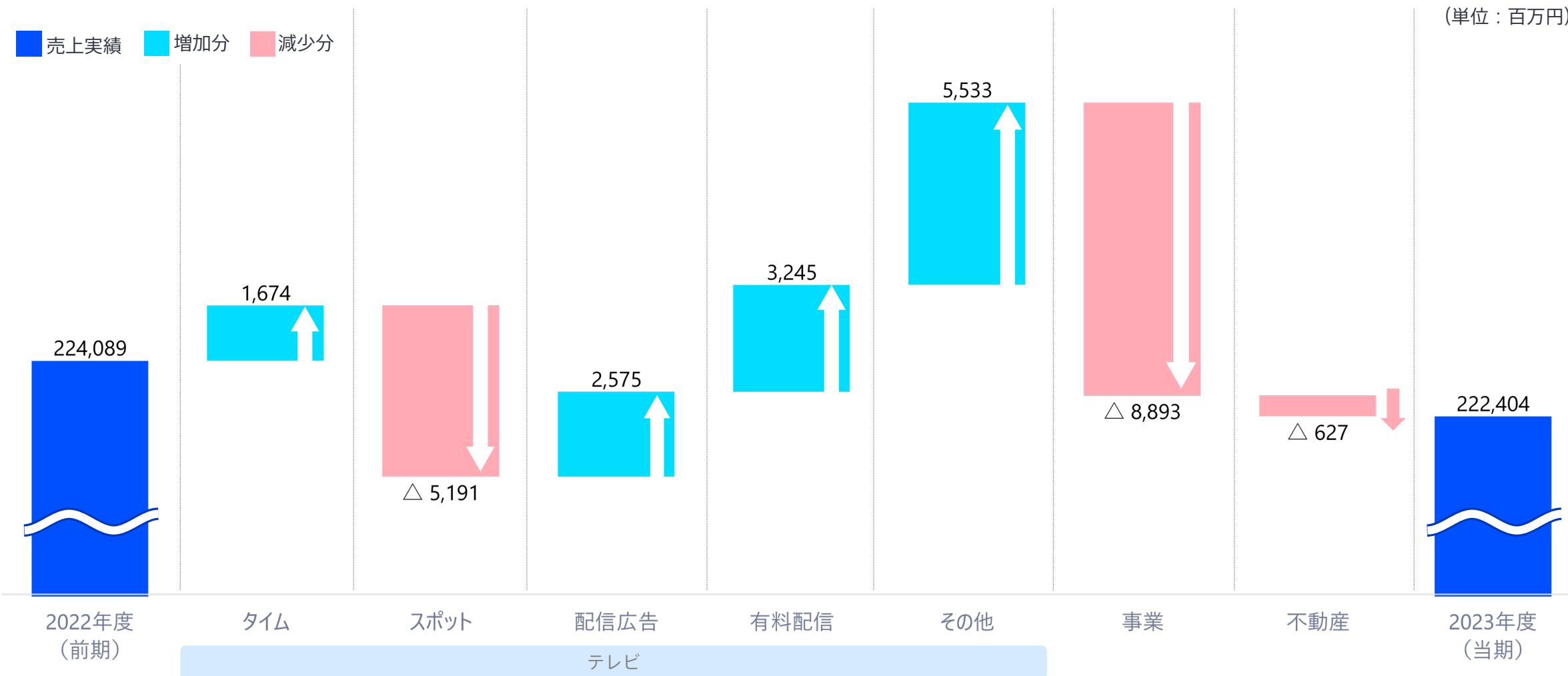
注1 前事業年度においてその他区分で開示していた収入のうち、当事業年度においては有料配信を別掲したうえで、有料配信以外をその他区分で集計しております。
なお、前事業年度について当該変更による組替を行ったうえで前年差を算出しております。

注2 前事業年度において事業部門に含めていたメディア事業（CS事業）にかかる収入の一部について、第2四半期よりテレビ部門のその他区分で集計しております。
なお、前事業年度について、当該変更による組替は行わずに前年差を算出しております。



テレビ部門では、スポット収入が大幅な減収となったものの、タイム収入の大型スポーツ単発や年末年始特別番組のセールス好調による増収に加え、配信広告収入や有料配信収入の大幅な伸長、メディア事業の移管により、部門全体では増収。

▶ 事業部門では、舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の公演日数の増加、劇場版「TOKYO MER ~走る緊急救命室~」の大ヒットがあったものの、メディア事業のテレビ部門への移管、「パリ・サン=ジェルマン ジャパンツアー2022」の反動で、減収。
トータルで減収。



テレビ番組原価（制作費）

▶ ドラマ・バラエティなどのコンテンツ強化および、アジア大会などの大型スポーツ単発により増加。

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度	前年差
第1四半期	23,218	24,255	+1,036
第2四半期	23,715	25,109	+1,394
第3四半期	24,357	24,855	+497
第4四半期	23,945	23,171	△773
(地上波直接費)	18,248	18,432	+184
(その他直接費および間接費)	5,697	4,739	△958
通 期 累 計	95,236	97,392	+2,155
(地上波直接費)	74,510	77,423	+2,912
(その他直接費および間接費)	20,726	19,968	△757

テレビ番組原価に含まれる主な費用

地上波直接費：
番組制作費、放送権料、美術制作費、技術制作費

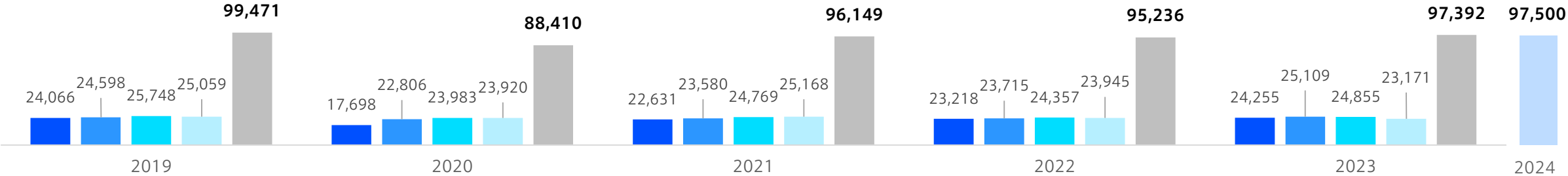
その他直接費および間接費：
地上波以外の直接費、
減価償却費・社員人件費などの配賦原価

2024年度見込み 97,500

地上波直接費： 77,000

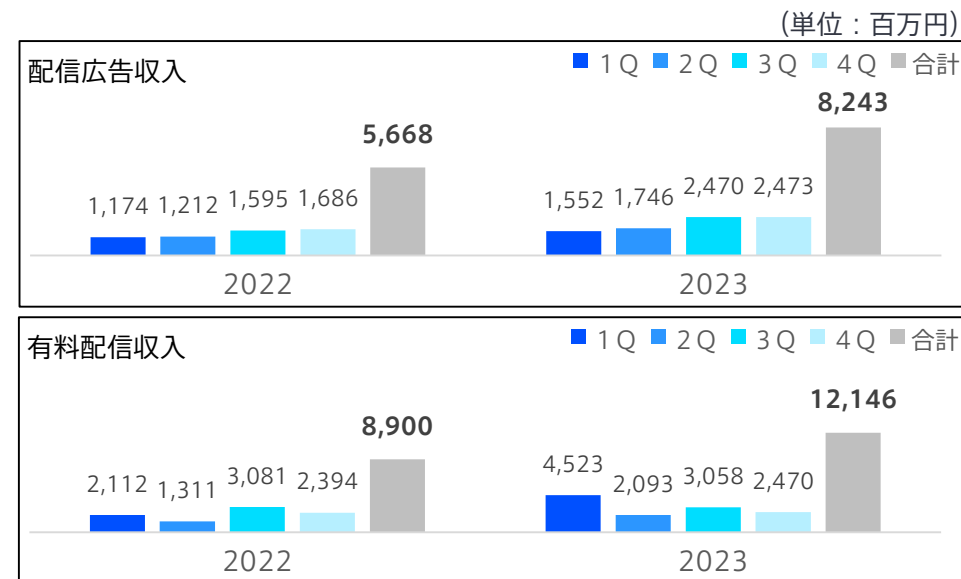
その他直接費および間接費： 20,500

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



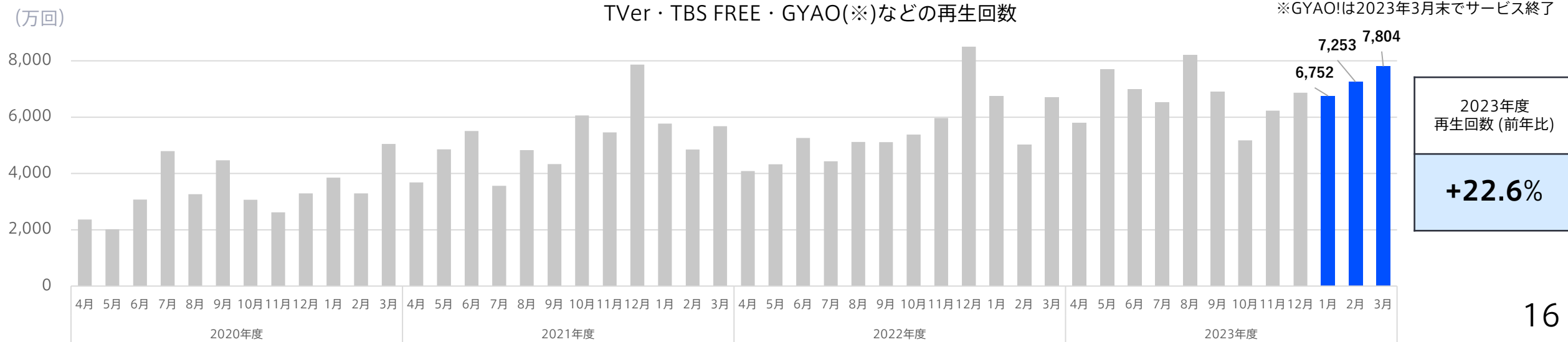
- ▶ 配信広告収入は、ドラマやバラエティの好調な再生回数を背景に増収。
 有料配信収入は、海外配信（Amazon Original「風雲！たけし城」やNetflixシリーズ「離婚しようよ」など）に加え、U-NEXTでの国内有料配信が好調で増収。

	2022年度	2023年度	前年差	増減率
配信広告収入	5,668	8,243	+2,575	+45.4%
有料配信収入	8,900	12,146	+3,245	+36.5%



TVer・TBS FREE・GYAO(※)などの再生回数

※GYAO!は2023年3月末でサービス終了



(単位：百万円)

部 門	売上高		粗利益		主な増減要因
	2023年度	前年差	2023年度	前年差	
アニメ	1,071	△820	182	△749	前年大ヒットした映画「五等分の花嫁」や、「プラチナエンド」の配信収入の反動で、減収減益。
映画	3,219	+973	1,460	+524	劇場版「TOKYO MER ~走る緊急救命室~」の大ヒットなどにより増収増益。
ライブエンタテインメント (旧：催事・興行)	8,729	△1,853	1,075	△207	Kバレエ「眠れる森の美女」が好調だったものの、前年の「パリ・サン＝ジェルマン ジャパンツアー2022」、ドラマ「君の花になる」関連イベントの反動による減収や、7月より展覧会事業をTBS グロウディアに移管した影響により、減収減益。
コンテンツビジネス (旧：マーチャンダイジングセンター)	1,622	△668	1,253	△290	DVD「クロサギ」「君の花になる」などが好調だったものの、7月より一部をTBSグロウディアに移管したため、減収減益。
グローバルビジネス	1,873	△527	996	△510	Amazon Original「風雲！たけし城」の世界配信に伴い、たけし城のフォーマット販売が好調だったものの、その他のロイヤリティ収入が振るわず、減収減益。
メディア事業・eスポーツ	2,406	△5,996	602	△1,793	7月以降はテレビ部門に移管。
その他営業費用			△1,659	+494	
部門計	18,923	△8,893	3,911	△2,531	事業部門全体では、減収減益。

(単位：百万円)

	売上高				営業利益				主な増減要因
	2022年度	2023年度	前年差	2024年度 予想	2022年度	2023年度	前年差	2024年度 予想	
TBSラジオ	8,490	8,137	△352	8,300	368	78	△290	160	広告収入で、タイム収入は前年を上回るも、スポット収入が減収となり、減収減益。
BS-TBS	17,218	17,108	△110	17,500	2,780	2,929	+149	3,130	スポット収入およびショッピングが好調だった一方、事業収入の苦戦により減収。 営業利益は増益を確保。
TBS グロウディア	28,089	30,193	+2,103	31,800	337	1,213	+876	1,910	DVD収入の増加に加え、 展覧会事業とTVショッピングなどの一部がTBSテレビから移管されたこともあり、増収増益。
日音	8,574	9,271	+696	10,200	836	910	+73	1,000	邦楽・洋楽収入の増加などにより、増収増益。
TCエンタ テインメント	7,122	9,373	+2,251	7,800	474	615	+140	550	DVD販売の増加により、増収増益。



雑貨小売販売事業は、化粧品、雑貨などが伸長したことにより、増収。
通信販売事業は、受注の減少により、減収。
ビューティ&ウェルネス事業は、化粧品の国内・海外販売が引き続き好調で増収。グループ全体では、増収増益。

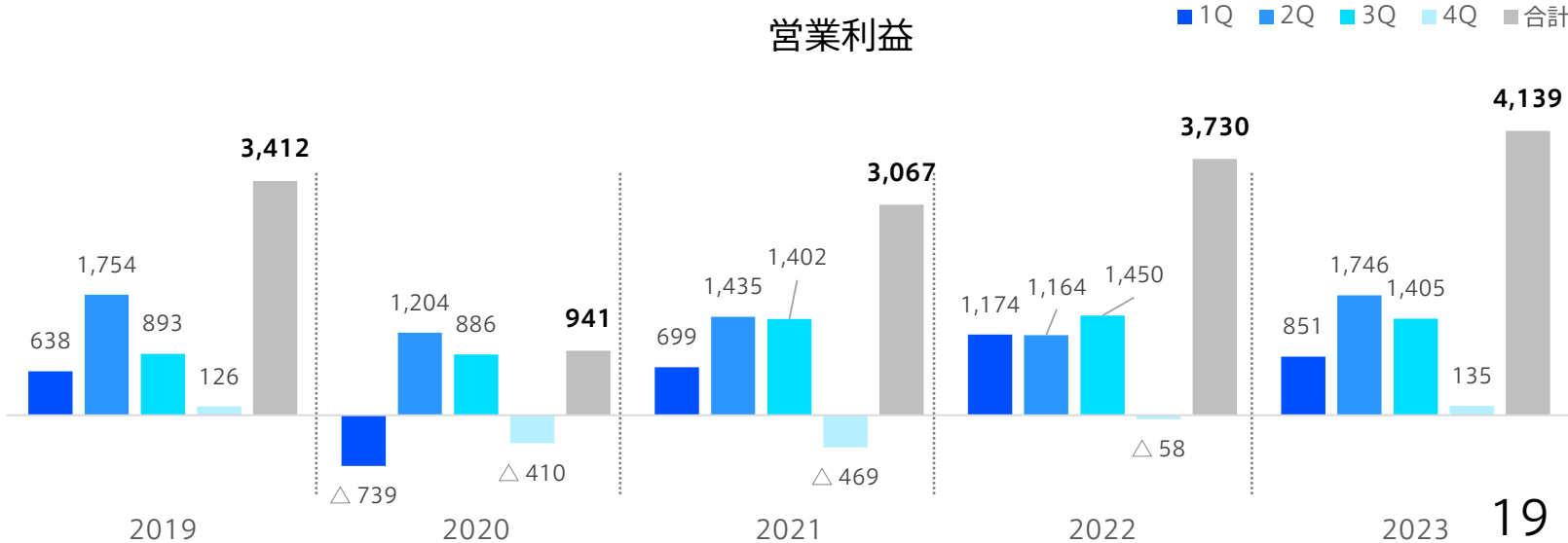
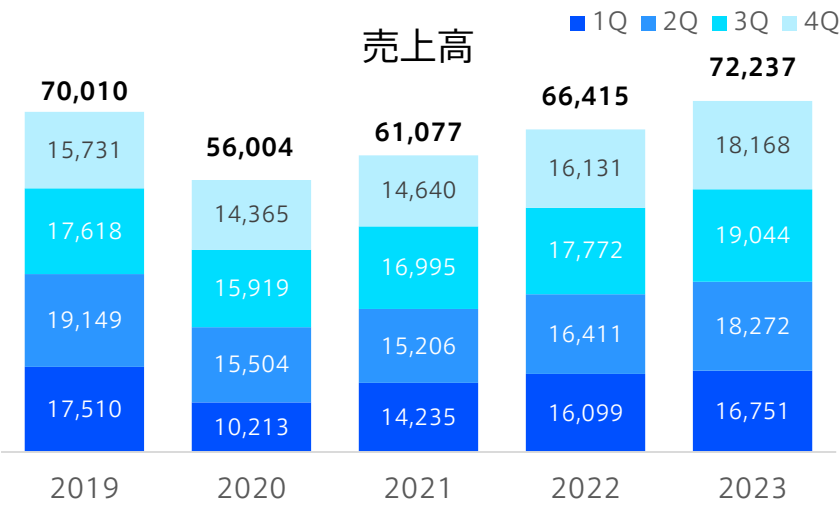
(単位：百万円)

(単位：百万円)

連結	2022年度	2023年度	前年差	2024年度 予想
売上高	66,415	72,237	+5,822	63,000
営業利益	3,730	4,139	+408	3,730

事業別	売上高(※)		
	2022年度	2023年度	前年差
雑貨小売販売事業	36,650	41,741	+5,090
通信販売事業	16,437	15,723	△713
ビューティ&ウェルネス事業	13,644	15,082	+1,438
本社およびその他	△316	△311	+5
計	66,415	72,237	+5,822

※事業別の売上高は管理会計上の数値



個別指導塾事業および幼児教育事業は、教室数および生徒数増加、加えて9月からの授業料などの値上げにより、両事業ともに増収。グループ全体では、事業の順調な成長による増収の一方、TBSグループ入りに伴う一過性のトランザクション関連費用(※1) 856百万円が上期に発生したことにより、減益。なお、トランザクション関連費用(※1)を除外した営業利益は2,677百万円。

(単位：百万円)

連結	2022年度	2023年度	前年差	2024年度 予想
売上収益	21,649	22,691	+1,042	25,100
営業利益	2,550	1,821	△729	3,530
営業利益*1 トランザクション関連費用除く	2,550	2,677	+127	3,530

*1 IFRS上、当該トランザクション関連費用は営業利益に算入されるが、日本基準においては特別損失での計上となり、TBSグループとしての連結営業利益には影響を与えないため、当該費用を控除した数値を参考に算出

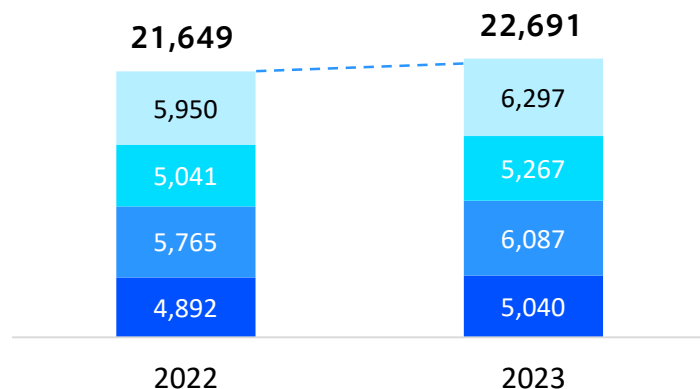
(単位：百万円)

事業別	売上収益*2		
	2022年度	2023年度	前年差
個別指導塾事業	10,942	11,226	+284
幼児教育事業	10,707	11,465	+758
計	21,649	22,691	+1,042

*2 事業別の売上収益は管理会計上の数値

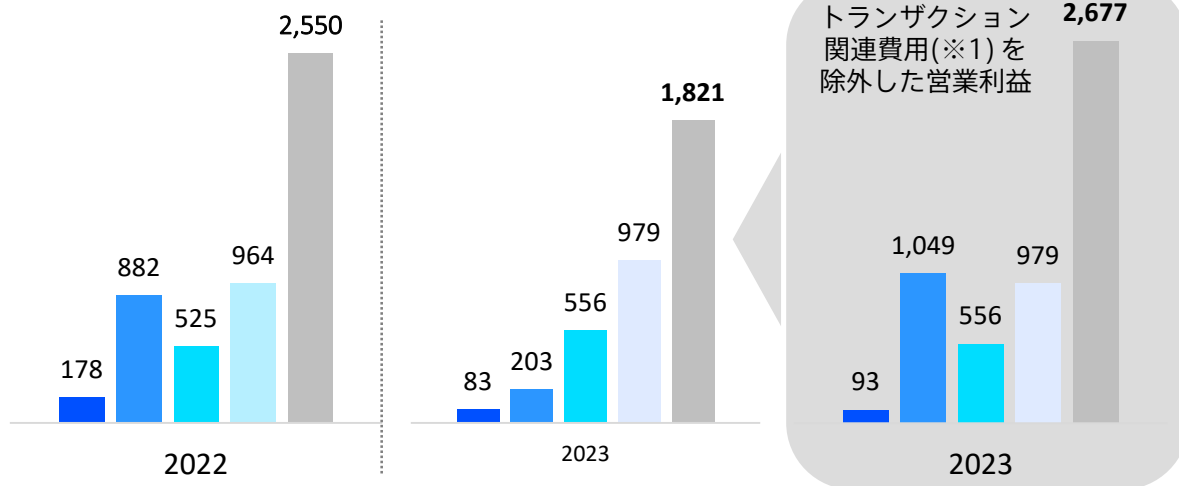
売上収益

■1Q ■2Q ■3Q ■4Q



営業利益

■1Q ■2Q ■3Q ■4Q ■合計



(※1) やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用 (IFRS) を指し、連結上では日本基準に組み替えて一部を特別損失に計上しております

2023年度 通期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

TBSグループ中期経営計画2023の実績

今後の重点施策

参考資料

2024年度 連結業績予想

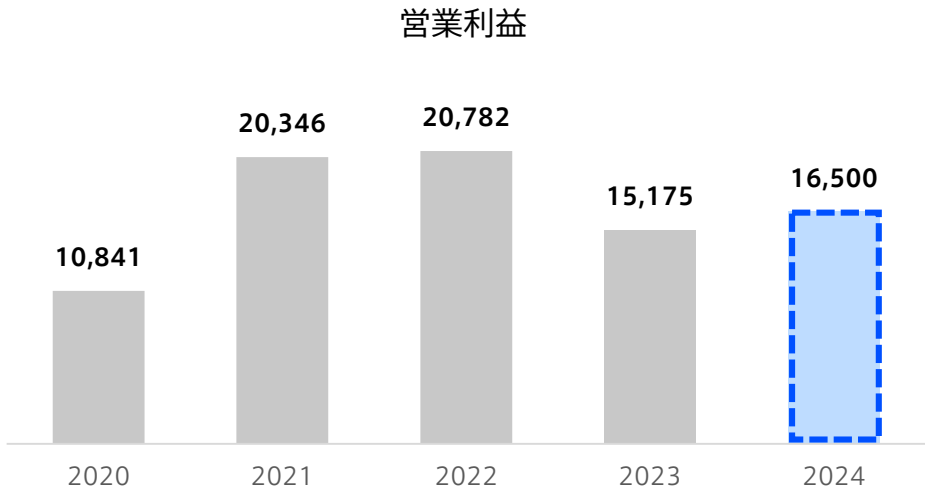
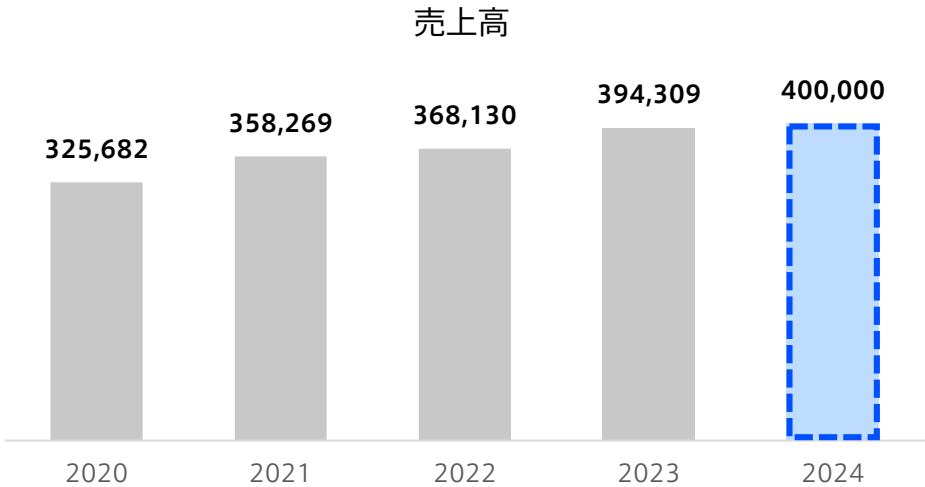
放送収入は前年と同水準としつつも、成長分野である配信などの拡大や、スタイリングライフグループの雑貨小売販売事業、ビューティー＆ウェルネス事業や、やる気スイッチグループの成長などを見込み、増収かつ営業増益を予想。一方、経常利益は受取配当金の減少などにより、減益予想。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年の投資有価証券売却益の反動減の影響もあり、減益幅の拡大を予想。

(単位：百万円)

連 結	2023年度 実績	2024年度 予想	前年差
売 上 高	394,309	400,000	+5,690
営 業 利 益	15,175	16,500	+1,324
経 常 利 益	27,653	26,100	△1,553
親会社株主に帰属する 当期純利益	38,126	21,600	△16,526

(単位：百万円)

セグメント別予想	売上高			営業利益		
	2023年度 実績	2024年度 予想	前年差	2023年度 実績	2024年度 予想	前年差
メディア・コンテンツ	287,854	294,700	+6,845	3,927	6,400	+2,472
ライフスタイル	89,903	88,200	△1,703	4,178	4,200	+22
不動産・その他	16,552	17,100	+547	7,066	5,900	△1,166
調整額	—	—	—	3	—	△3
連 結	394,309	400,000	+5,691	15,175	16,500	+1,325

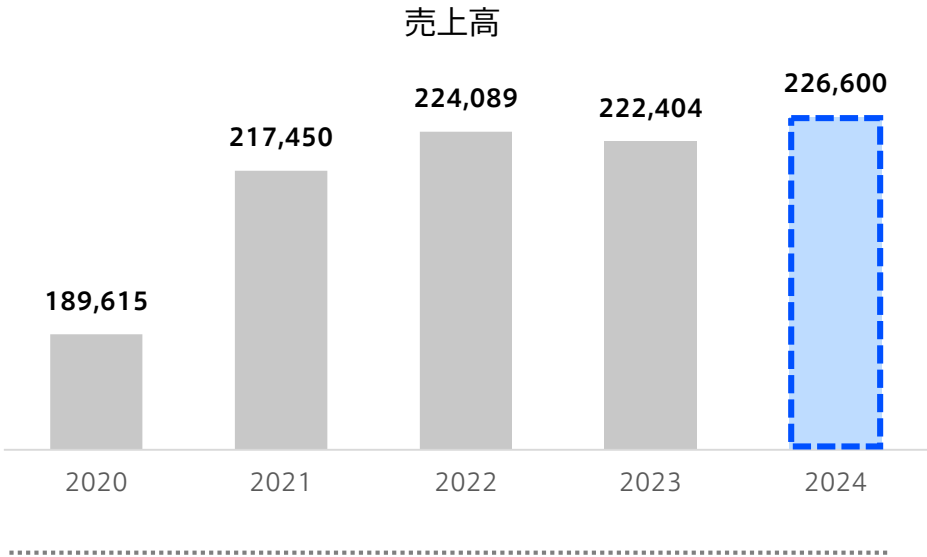


2024年度 TBSテレビ業績予想

▶ 放送収入は前年と同水準としつつも、成長分野である配信の拡大で、増収増益を予想。
当期純利益は、投資有価証券売却益の増加などにより増益幅の拡大を予想。

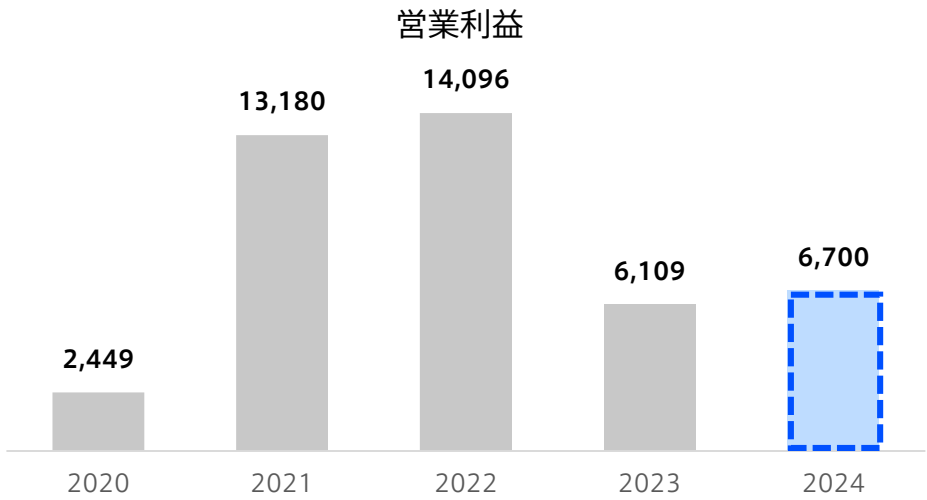
(単位：百万円)

TBSテレビ	2023年度実績	2024年度予想	前年差
売上高	222,404	226,600	+4,195
営業利益	6,109	6,700	+590
経常利益	8,644	9,100	+455
当期純利益	5,863	8,100	+2,236



(単位：百万円)

	2023年度実績	2024年度予想	前年差	増減率
タイム	81,590	79,300	△2,290	△2.8%
スポット	77,777	79,500	+1,722	+2.2%
番組原価	97,392	97,500	+107	+0.1%



2023年度 通期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

TBSグループ中期経営計画2023の実績

今後の重点施策

参考資料

株主還元方針と年間配当予想

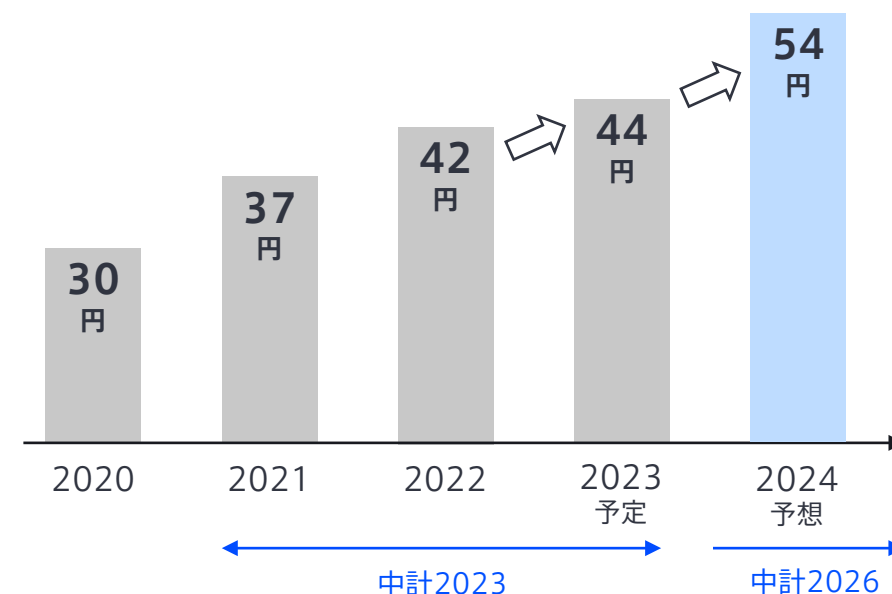
(旧) 基本方針	連結ベースの配当性向30%を目処としつつ、安定的かつ継続的な配当を基本とする。 業績伸長などの際には、特別配当などにより還元の充実に努める。自己株式取得は、これまで通り機動的に検討する。
----------	--



(新) 基本方針	連結ベースの配当性向 40% を目処として、安定的かつ継続的に配当を実施するとともに、 総還元性向 を意識したうえで、自己株式の取得も機動的に実施する。
----------	--

	1株当たり配当金 (円)			配当性向 (%)	特殊な要因 (★) の影響を除いた 配当性向 (%)
	第2四半期末	期末	年間		
2017年度	15	15	30	30.5	30.5
2018年度	16	17	33	22.9	31.7
2019年度	13	17	30	17.3	43.0
2020年度	15	15	30	18.3	59.5
2021年度	15	22	37	19.7	30.9
2022年度	20	22	42	20.1	30.3
2023年度 (予定)	22	22	44	18.9	34.4
2024年度 (予想)	27	27	54	40.4	—

(★) 中長期の収益拡大を目指す成長領域への投資の源泉として売却した投資有価証券から生じる売却損益は、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付けております。

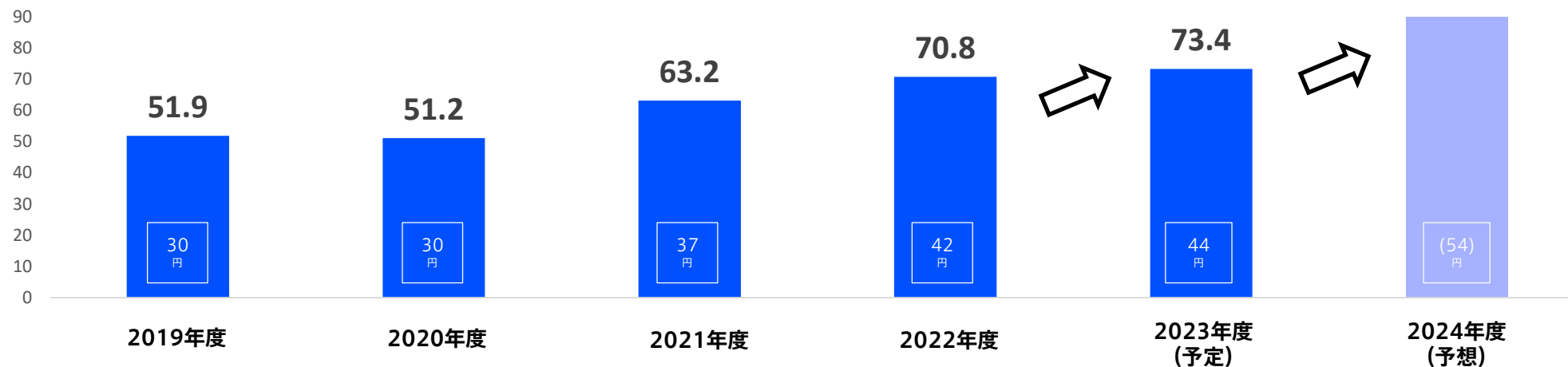


- ▶ 2023年度は2円増配の44円を予定。
- ▶ 2024年度は10円増配の54円を予想。引き続き、安定的かつ継続的な配当を実施。

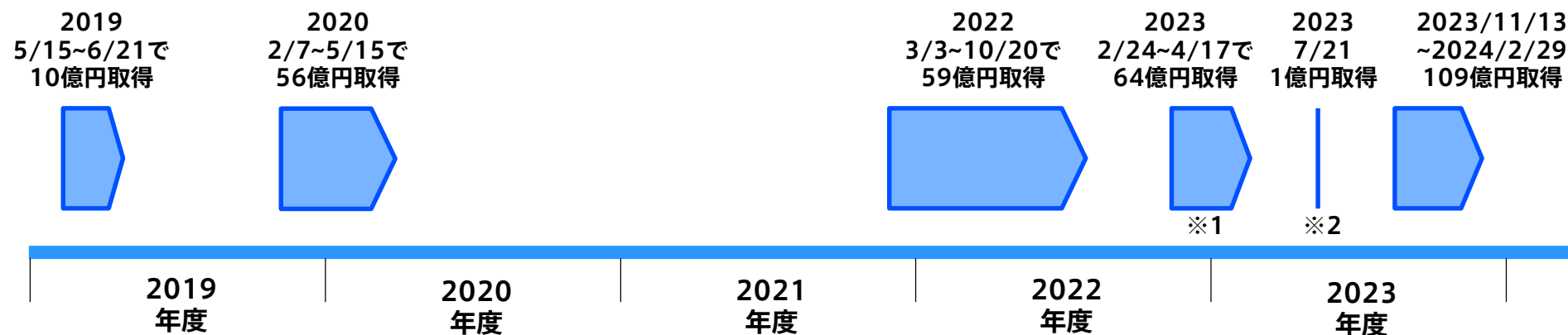
▶ 安定的かつ継続的な配当を基本としつつ、総還元性向を意識した上で、自己株式の取得も機動的に実施する。

配当総額（億円）

□ は1株当たり配当金



自己株式取得



※1 当社が資金を拠出し、株式付与ESOP信託が所有する株式

※2 当社が役員向け株式交付信託に処分した株式

2023年度 通期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

TBSグループ 中期経営計画2023の実績

今後の重点施策

参考資料

売上高・営業利益・簡易EBITDAの実績

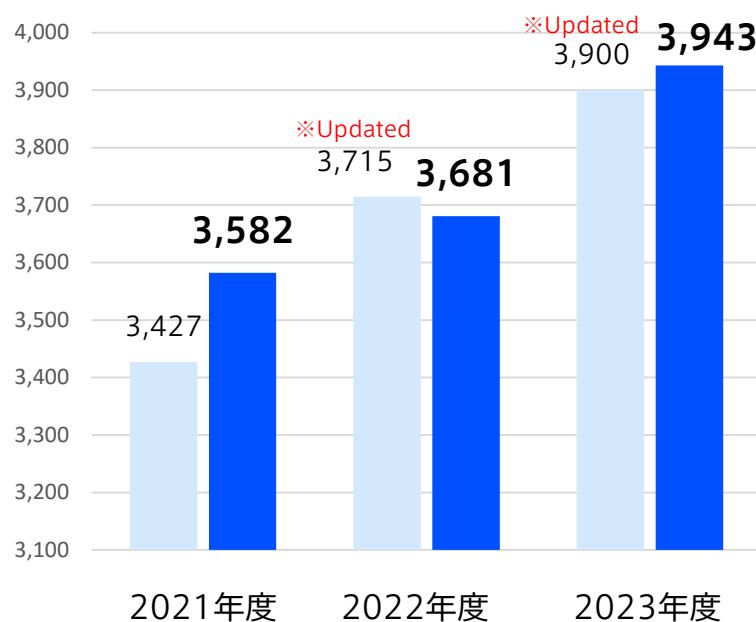
TBS

単位：億円

■ 中計2023 目標 ■ 実績

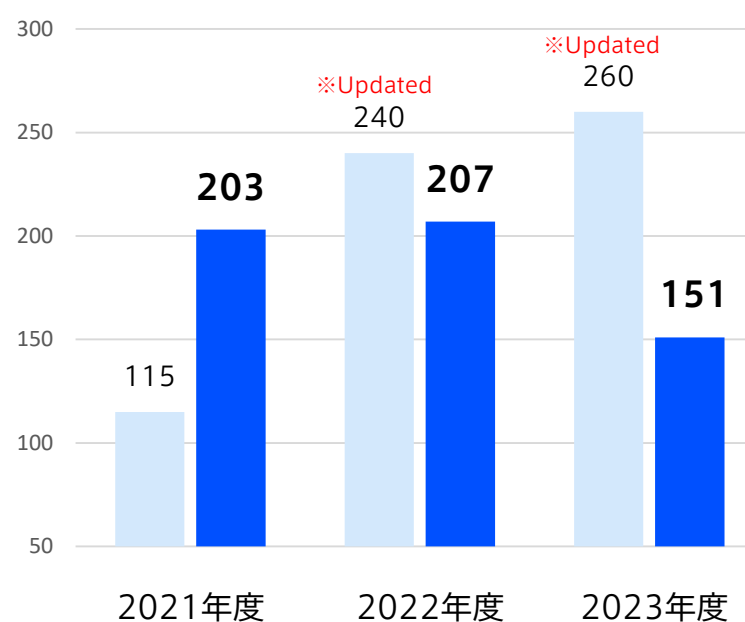
※2021年度の実績が当初の中計2023を上回る水準であったため、アップデートを実施。

売上高



目標を達成

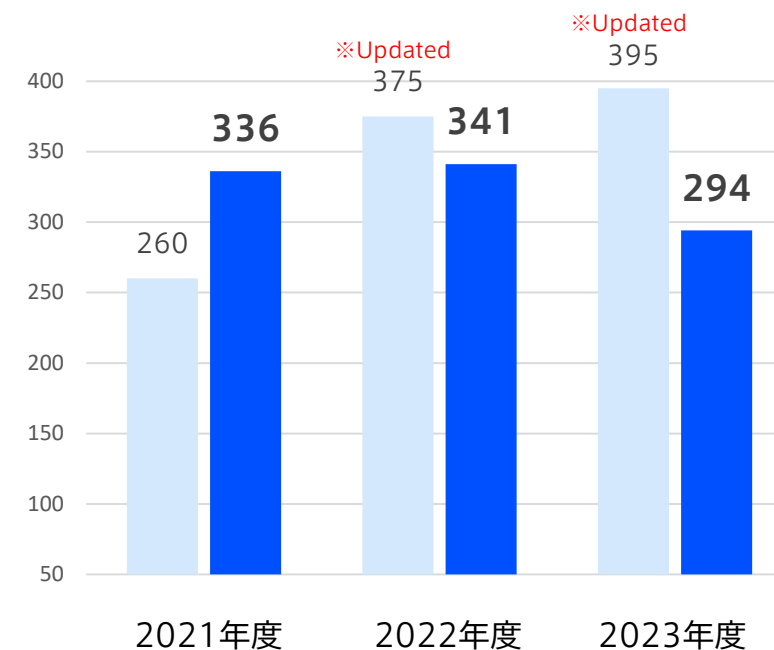
営業利益



スポット低迷などにより、未達

簡易EBITDA

簡易EBITDA=営業利益+減価償却費



放送事業と放送事業以外の収入割合

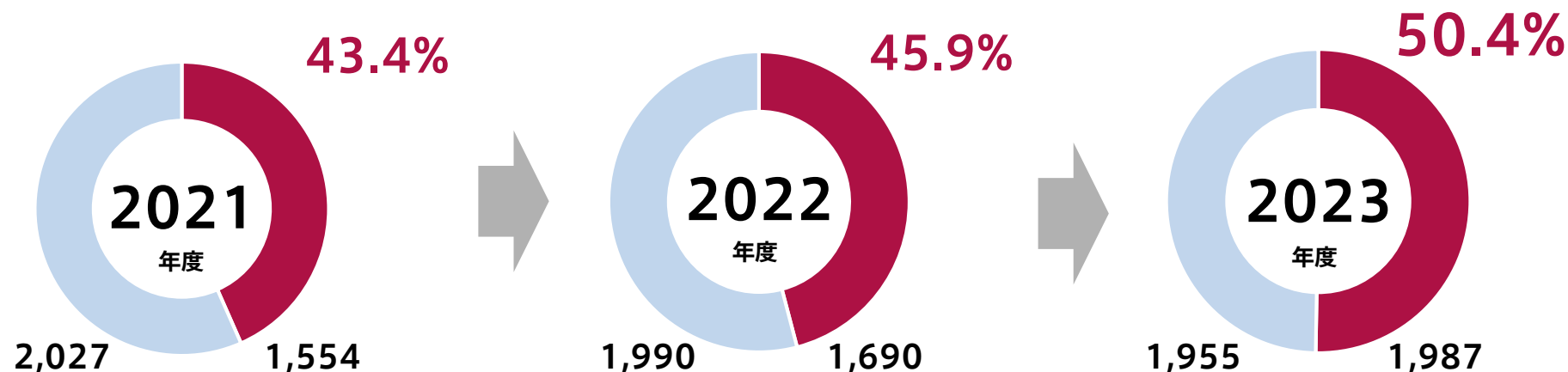
TBS

単位：億円

- ▶ 「TBSグループVISION2030」では放送事業の価値向上に努めながら、EDGE戦略の推進によって放送事業以外の売上高比率を拡大させ、2030年にはグループ全体の収入の60%にまで高めることを目指す。
2024年度より放送事業の定義を変更。これまで配信広告収入を「放送事業以外」に加算していたが、「放送事業」に加算する。

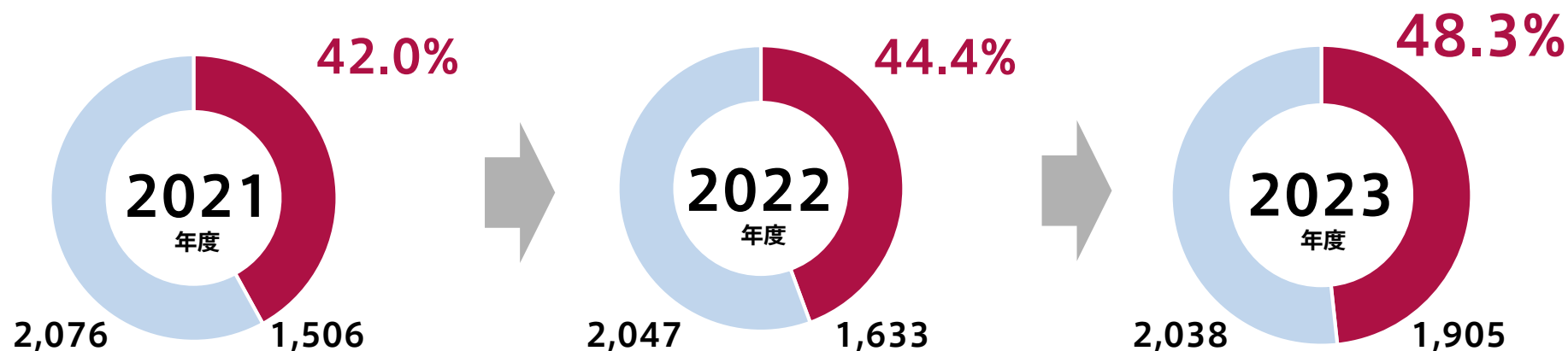
変更前

放送事業
放送事業以外



変更後

放送事業 (配信広告収入を含む)
放送事業以外

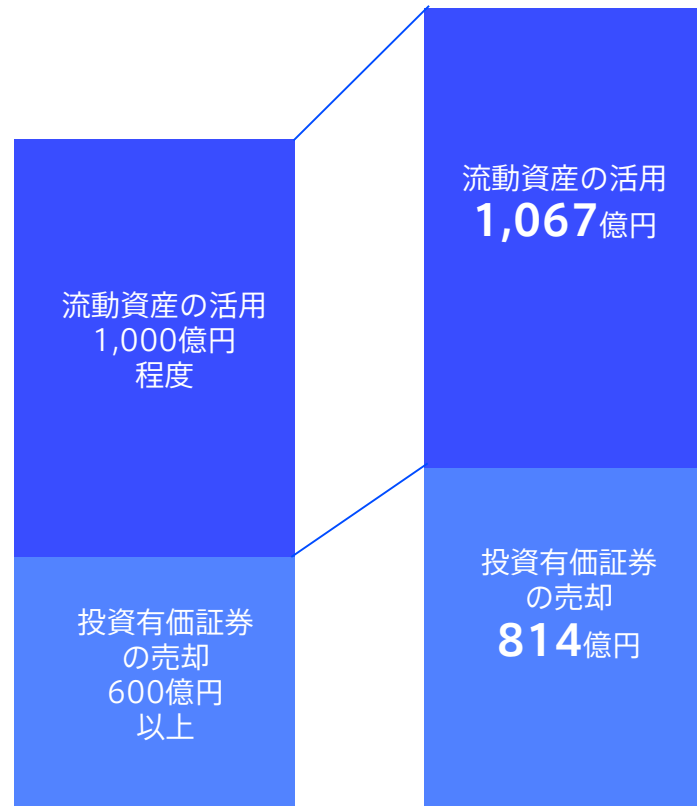


キャッシュ・アロケーションの実績

(2021年度～2023年度)

TBS

キャッシュ・イン

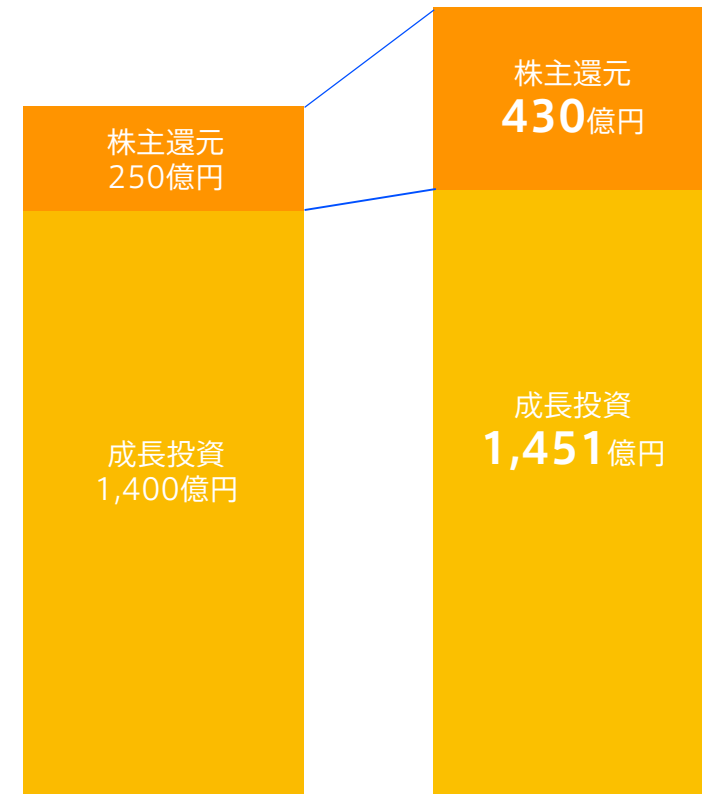


計画

中計2023
Updated

実績

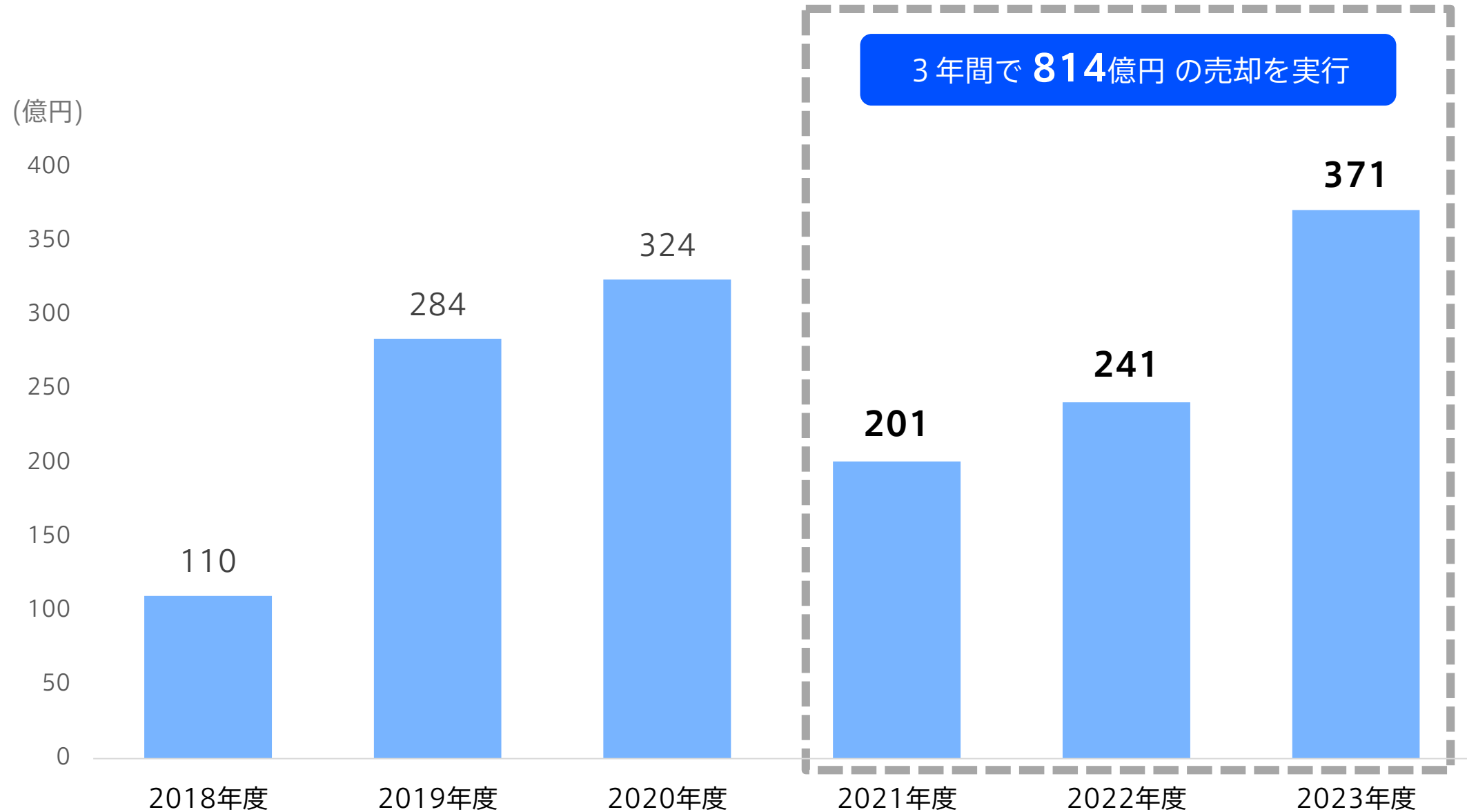
キャッシュ・アロケーション

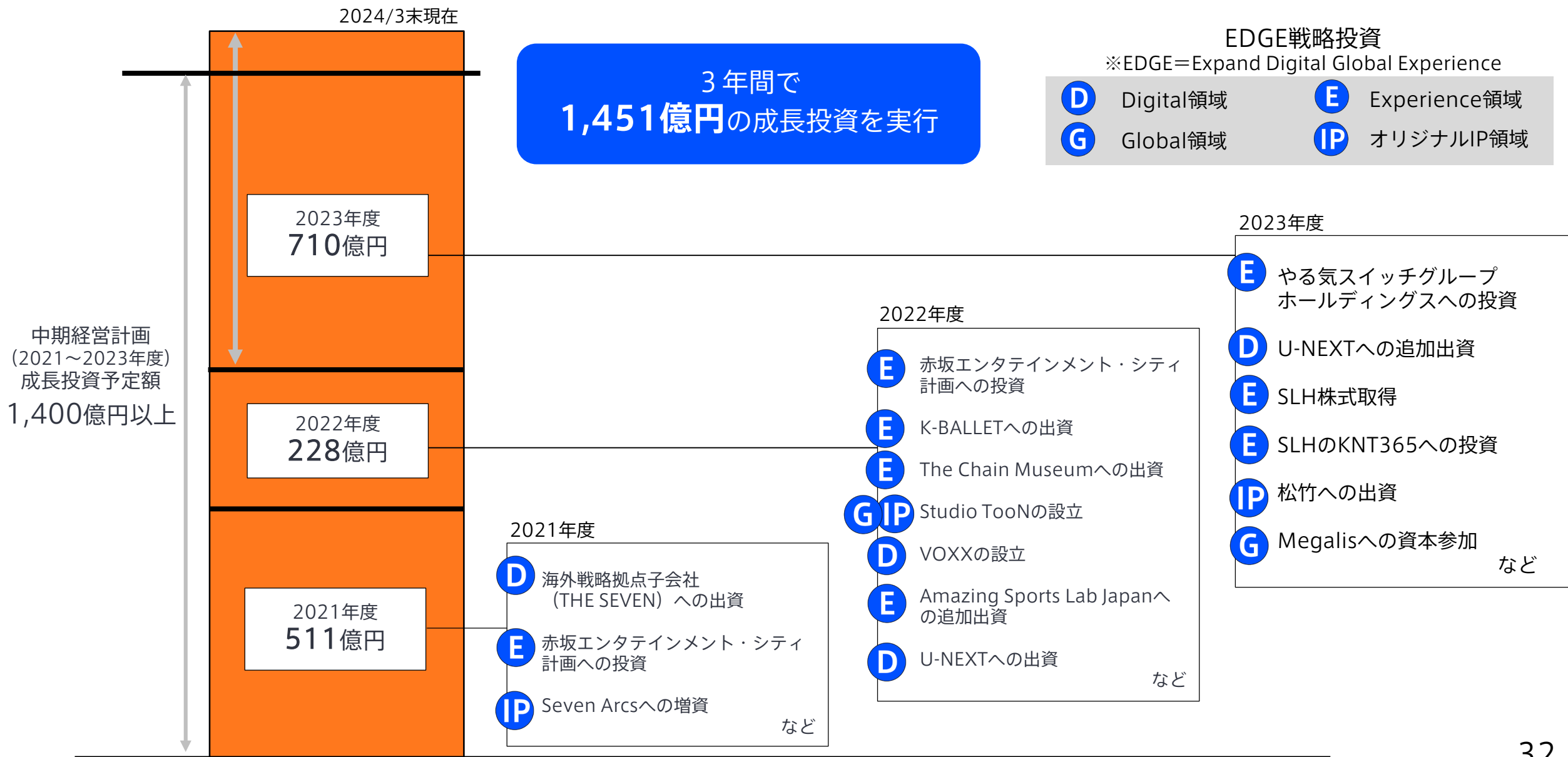


計画

中計2023
Updated

実績





2023年度 通期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

TBSグループ中期経営計画2023の実績

今後の重点施策

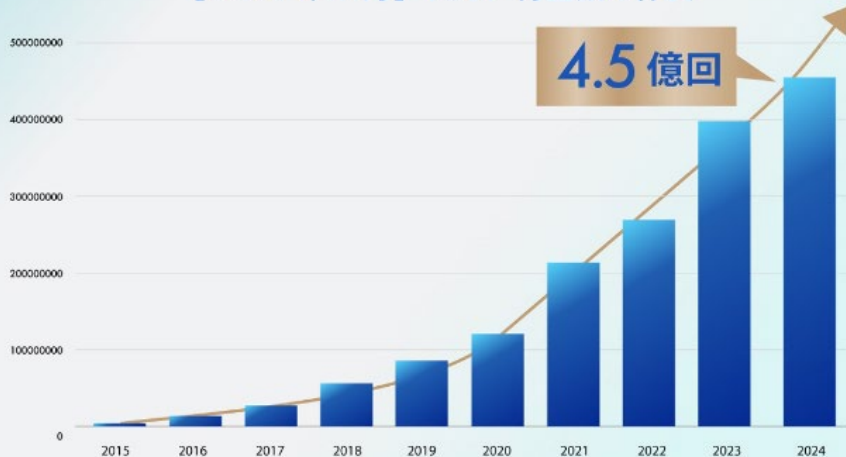
参考資料



- 月間動画再生数 **4.5億回**を突破
- 月間ユーザー数 **3,500万MUB**を突破
- アプリ累計DL数 **7,000万DL**を達成
- 配信番組数 **750番組以上** (全局総計)
(※レギュラー番組)

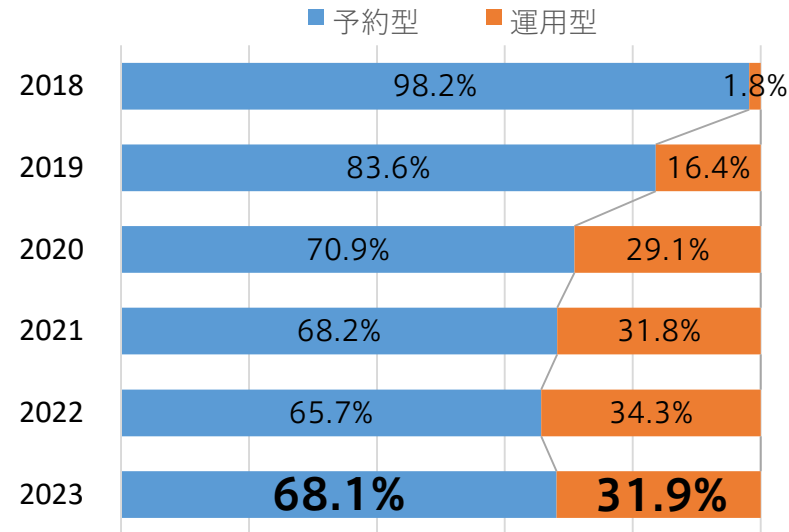
TVerは動画配信プラットフォームとして着実に成長中

【2024年3月】TVer 再生数の伸長



出典：TVer+ (2024.4.10)

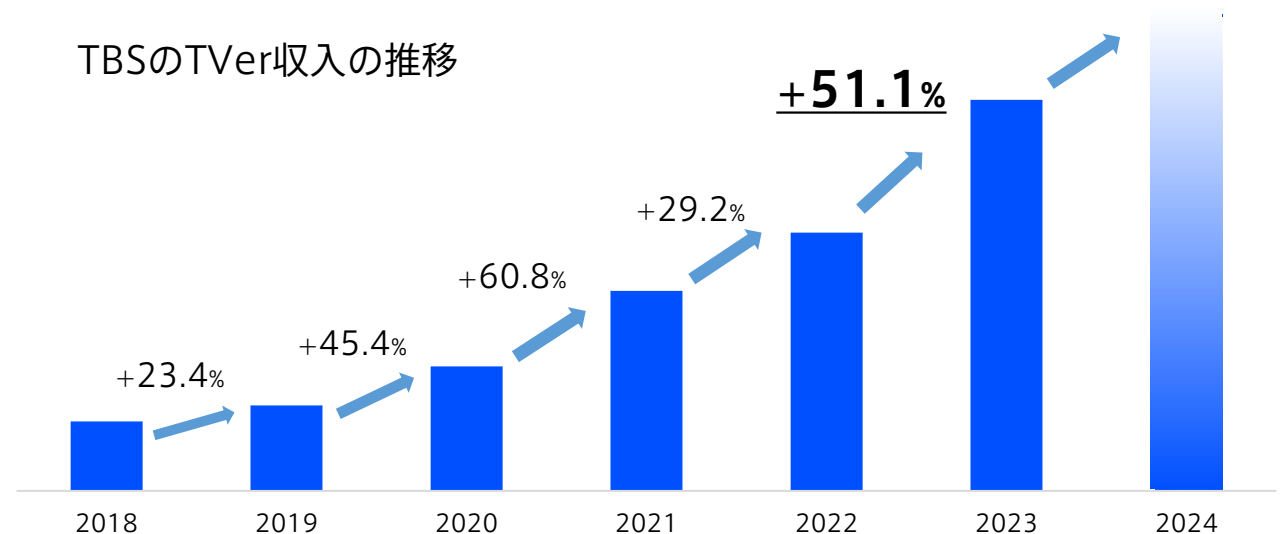
TBSのTVer収入構成比



TBS(2023年度)
業種別ランキング

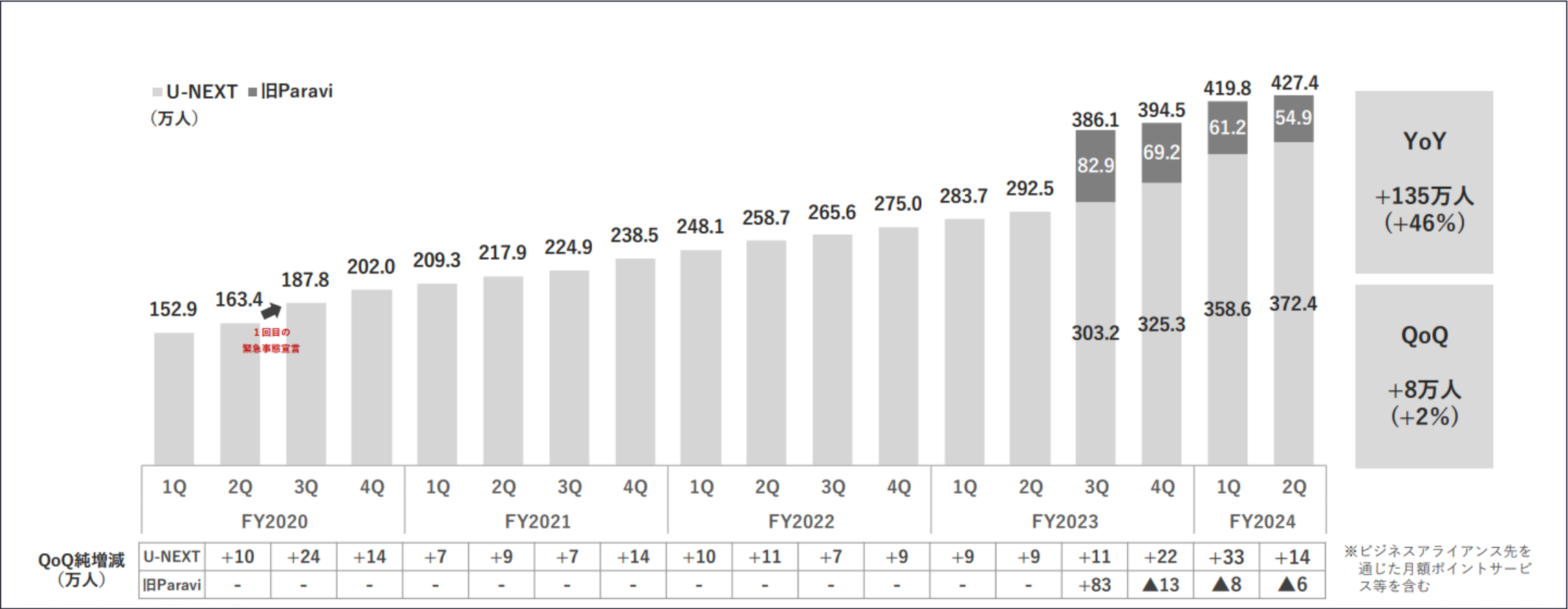
1	酒・飲料
2	化粧品・トイレタリー
3	エンターテインメント・趣味
4	精密機器・事務機
5	外食・サービス
6	食品
7	不動産・建設
8	医薬品
9	金融
10	情報・通信・放送

TBSのTVer収入の推移





Paraviとの統合効果により、課金ユーザー数が大幅に増加。



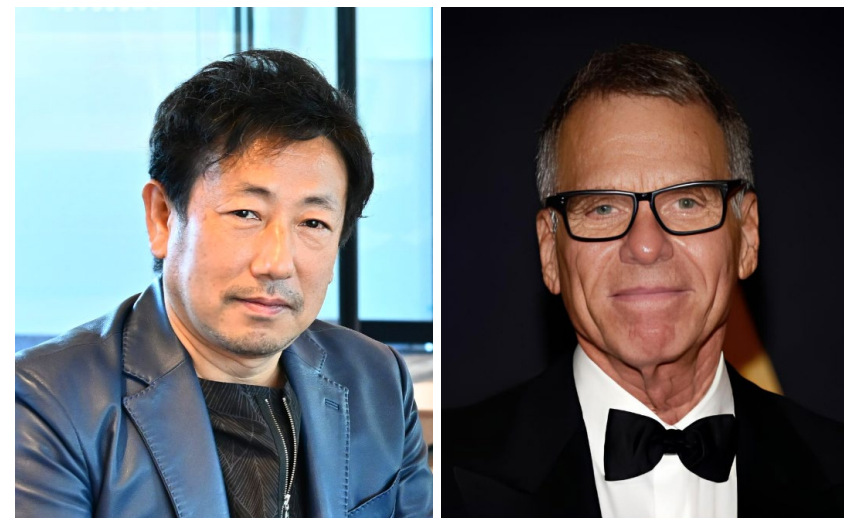
TBSホールディングスが VFXクリエイター集団「Megalis」へ資本参加



- 世界水準の人材と技術を有するVFXスタジオへの出資により、コンテンツグローバル戦略を推進、世界市場におけるプレゼンス拡大を目指す。
- TBSグループの海外戦略スタジオTHE SEVENと戦略的パートナーシップ締結、制作体制をより強固に。



THE SEVENが 「フェイス/オフ」の米映画プロデューサー デヴィッド・パーマット率いる パーマット・プレゼンテーション社と 国際共同製作に合意



- 既にハリウッド映画作品の共同開発に着手しており、同作は日本での撮影も予定。
- 今後アメリカでショーランナーと共に本格的な開発やプリプロダクション作業を始動。



海外連結子会社による Bellon Entertainment Inc.の株式取得予定

海外におけるコンテンツ開発とビジネス展開の強化を目的として、TBSホールディングスが海外連結子会社であるTOKYO BROADCASTING SYSTEM INTERNATIONAL,INC.の増資を引き受け、当該子会社がアメリカのコンテンツ販売代理店であるBellon Entertainment Inc.の全株式を取得。

□ TOKYO BROADCASTING SYSTEM INTERNATIONAL,INC.への増資の内容

払込金額	10.5百万 USD
払込期日	2024年5月31日（予定）
増資後の資本金の額	13.78百万 USD
増資後の出資比率	当社100%

□ Bellon Entertainment Inc.の取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	0株（議決権の数：0個 議決権所有割合：0%）
取得株式数	50株（議決権の数：50個 議決権所有割合：100%）
取得価額	増資額を充当
異動後の所有株式数	50株（議決権の数：50個 議決権所有割合：100%）
株式譲渡実行日	2024年5月31日（予定）

韓国・ソウルに海外子会社を設立予定

グローバル戦略を推進する目的で、コンテンツのグローバル販売において知見を多く持つ韓国に現地法人を設立。現地人材を活用し、密にコミュニケーションをとることで効果的な協業実現により、アジアに対するTBSドラマ・リメイク販売の起点となるだけでなく、ドラマ・映画・K-POP等のコンテンツ投資の基盤を構築することを目指す。

□ 新設する子会社の概要

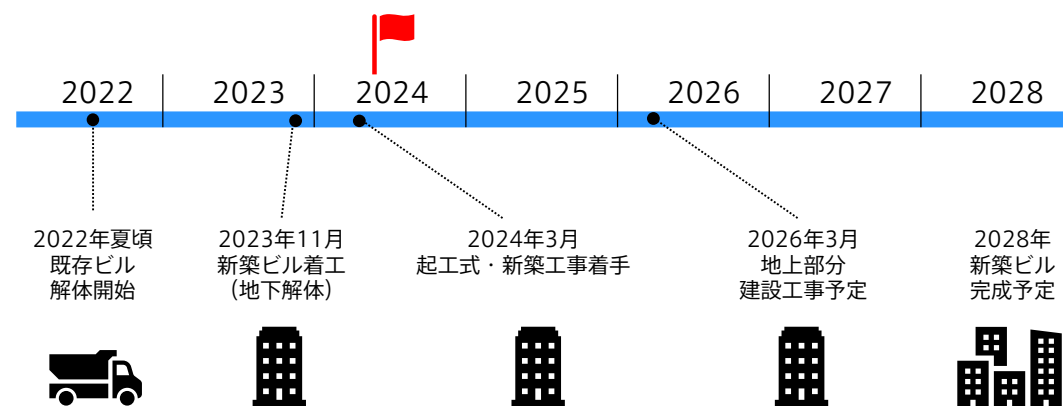
名称	TOKYO BROADCASTING SYSTEM KOREA, INC.	
所在地	韓国・ソウル市	
代表者の役職・氏名	理事 深井 純	
事業内容	アジアに対するTBSドラマ・リメイク販売 ドラマ・映画・K-POP等へのコンテンツ投資	
資本金	200,000,000ウォン（約22百万円）	
設立年月日	2024年6月1日（予定）	
大株主及び持分比率	当社100%出資	
上場会社との当該会社との間の関係	資本関係	当社100%出資の子会社として設立
	人的関係	当社の社員が理事に就任
	取引関係	TBSグループのコンテンツ販売活動及び、投資活動のための情報収集を委託予定



※青字部分は2028年竣工予定の再開発エリア（写真・イラストはイメージです。）



再開発エリアの工事スケジュール



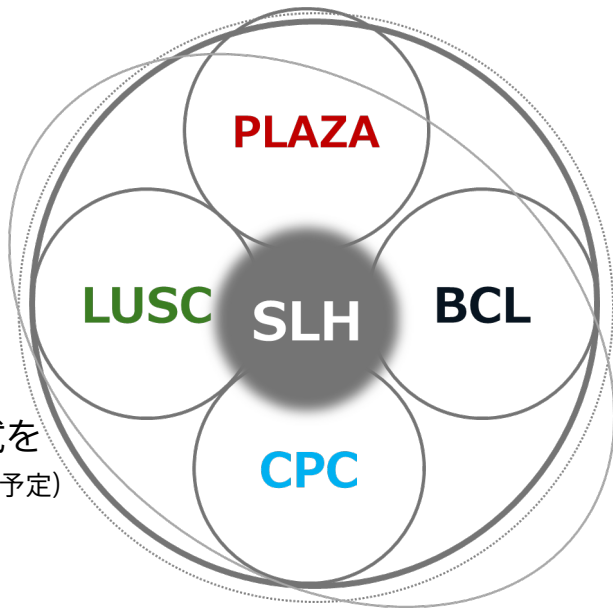
●今後の主なラインアップ

2024/5/14 現在

	期間	タイトル	備考
映画	2024/5/31公開	からかい上手の高木さん	配給：東宝
	2024/6/21公開	九十歳。何がめでたい	配給：松竹
	2024/8/23公開	ラストマイル	配給：東宝
	2024/10/11公開	若き見知らぬ者たち	配給：クロックワークス
	2024年 秋公開	スマホを落とすただけなのに ～最終章～ ファイナルハッキングゲーム	配給：東宝
興行	2022/7/8～ロングラン	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」	TBS赤坂ACTシアター
	2024/5/16～6/10,7/3～15	ミュージカル「ロミオ&ジュリエット」	新国立劇場 中劇場 ほか
	2024/5/24～26	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Spring 2024「カルミナ・ブラーナ」	Bunkamuraオーチャードホール
	2024/6/1,2,8,9	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Spring Tour 2024「ラ・バヤデール」	Bunkamuraオーチャードホール
	2024/6/2～16	浅田真央アイスショー「Everlasting33」	TACHIKAWA STAGE GARDEN
	2024/6/24～7/8	音楽劇「A BETTER TOMORROW-男たちの挽歌-」	日本青年館ホール
	2024/7/27～8/1, 8/2～10/26,11/9～11/24	ミュージカル「ビリー・エリオット～リトル・ダンサー～」	東京建物Brillia HALL ほか
	2024/8/3,4	K-BALLET Opto「シンデレラの家」	TACHIKAWA STAGE GARDEN
	2024/8/17,18	エガフェス2024 LIVE ～伝説の夏～	ぴあアリーナMM
	2024/9/11～16,18～23	ブロードウェイ・ミュージカル「プリティ・ウーマン」	新国立劇場 オペラパレス ほか
	2024/10	ミュージカル「9 to 5」	日本青年館ホール
催事	2024/3/16～2024/6/16	大哺乳類展3ーわけてつなげて大行進	国立科学博物館

Z世代／ライフスタイルIP・コンテンツの拡大

EDGE戦略を加速するため、事業ポートフォリオの拡張を図り、新しく楽しいライフスタイル（衣食住+美）を発信していきます。



※LUSCの株式を
100%売却（予定）

VISION2030
EDGE戦略



※Cath Kidstone
「独占輸入販売権」
「マスターライセンス権」を取得

StylingLife
GROUP

※KNT365の株式を
100%取得



PLAZASTYLE

この度、2026年の創業60周年に向けてリブランディングを実施しました。

新たなスローガンとして「HEARTS UP!」を掲げ、日常の心拍数を上げる原動力となる「ライフモチベートブランド」へとアップデートしました。お客様の日々にたくさんの心はずむ瞬間をお届けすること、さらには人々の生活におけるモチベーションを作りだすことを目指して、58年の歴史で培ってきたライフスタイルコンテンツを主軸に、より広い視野であらゆる方法を考え、挑戦し続けていきます。

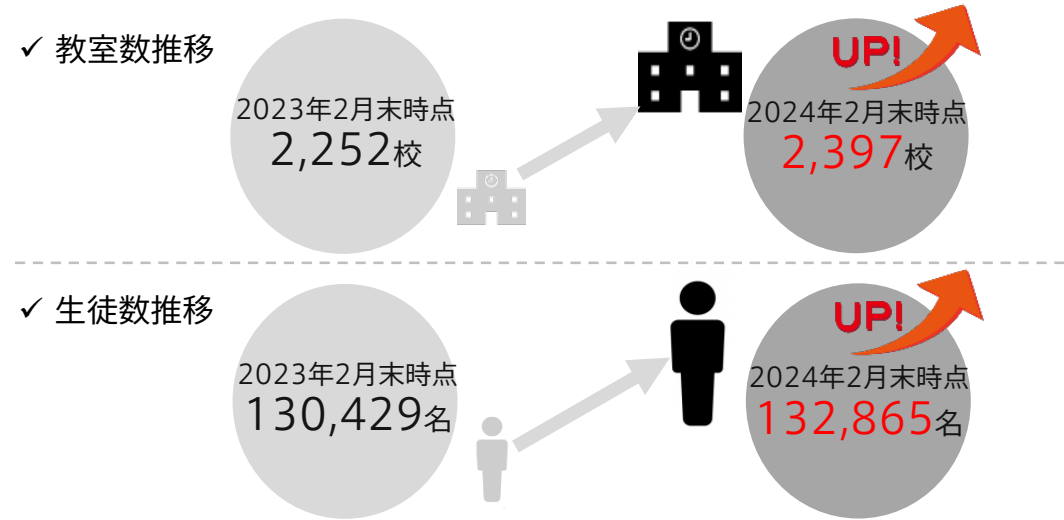


3月に開催された展示会「PLAZASTYLE PROJECT CAMP 2024SS」では、関係者や、抽選で選ばれたPLAZAPASS会員をお招きし、いまPLAZAが注目するモノ・コト、今後PLAZAで展開予定のアイテムなどを一足早くご覧いただきました。

PLAZAは2026年の創業60周年に向けリブランディングを実施し、「HEARTS UP!」を新たなスローガンとして掲げたばかり。“心を弾ませ、日常の心拍数を上げる”スペシャルイベントを！ということで、会場では、豪華なゲストをお招きしたTBSラジオとのコラボステージが“5つ”も登場しました。この模様はPodcastにてお聞きいただけます。



教室数及び生徒数推移



TBSとのシナジー発揮



□ TBS×やる気スイッチグループ
体験型コンテンツワーキンググループ「アナウンサー体験」開催（2023年12月）
スクールIE 南砂センター校・東長崎校から希望した小学校3年生・4年生の男女5名のお子さまとご家族が参加。出水麻衣TBSアナウンサーを講師として2時間半のプログラムを実施した。

新規開校状況*1（2023年12月～）

2023年度 累計開校件数 47 校 開校 12月開校 ■FC 永山校(東京) 1月開校 ■FC 北本桶川校(埼玉) ■FC 前後校(愛知) etc. 2月開校 ■FC 島本西口校(大阪) ■FC 福岡駅前校(福岡) etc.	2023年度 累計開校件数 111 ラボ 開校 12月開校 ■FC 広畑ラボ(兵庫) ■FC 新所沢ラボ(埼玉) etc. 1月開校 ■FC 浦和美園ラボ(埼玉) ■FC 豊栄総合体育館ラボ(新潟) etc. 2月開校 ■FC 武蔵藤沢ラボ(埼玉) ■FC 西新潟市民会館ラボ(新潟) etc.	2023年度 累計開校件数 6 校 開校 1月開校 ■FC 千歳船橋校(東京) 2月開校 ■FC 武庫之荘校(兵庫) ■FC 北赤羽校(東京) 2023年度 累計開校件数 5 校 開校	2023年度 累計開校件数 67 拠点 開講^{*2} 12月開校 ■YPFC 中小田井校(愛知) ■YPFC 東海校(茨城) 1月開校 ■YPFC 泉が丘校(栃木) ■YPFC 都賀校(千葉) 2月開校 ■YPFC 佐世保大塔校(長崎)	2023年度 累計開校件数 1 園 開園 2023年度 累計開校件数 1 園 開園
--	--	--	--	---

*1 海外教室除く *2 プログラミング教室『HALLO』の開校件数は(株)YPスイッチの直営及びFC(他塾展開)の開講数のみをカウント



TBSホールディングスは、企業・自治体などの環境情報開示を評価する国際的なNPO「CDP」が発表した「気候変動レポート2023」において、8段階中上から3番目にあたる「B」スコアを獲得しました。

「B」スコアはマネジメントレベルとされ、「自社の環境リスクやその影響を認識し、行動している」と評価されたことを示しています。日本の放送局が「B」スコアを獲得したのは初めてです。



TBSホールディングス、TBSテレビ、及び東京放送健康保険組合は、経済産業省及び日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2024 大規模法人部門（ホワイト500）」に初めて認定。民放キー局の中で唯一の認定局となります。

今回の認定では特に「従業員の感染症予防」、「メンタルヘルス不調等の発生予防や早期発見・対応」「休職後の職場復帰、就業と治療の両立」で高評価を得ています。

2023年度 通期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

TBSグループ中期経営計画2023の実績

今後の重点施策

参考資料

(単位：百万円)

	2023年 3月末	2024年 3月末	比較		2023年 3月末	2024年 3月末	比較
流動 資産	209,058	154,399	△54,658	流動 負債	104,059	94,993	△9,066
				固定 負債	167,621	322,564	+154,942
				負債 合計	271,681	417,557	+145,875
固定 資産	858,807	1,413,105	+554,297	自己 資本	780,667	1,137,659	+356,992
				非支配 株主持分	15,517	12,287	△3,229
				純資産 合計	796,184	1,149,947	+353,763
資産 合計	1,067,865	1,567,504	+499,638	負債 純資産 合計	1,067,865	1,567,504	+499,638

期末有利子負債残高： 37億円 （前期末比 △162億円）

※リース債務は除く

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度	前年差
営業活動による キャッシュ・フロー	30,632	26,535	△4,096
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,346	△ 29,556	△22,210
財務活動による キャッシュ・フロー	△24,491	△ 51,012	△26,521
現金及び現金同等物の 増減額	△1,118	△ 53,890	△52,772
現金及び現金同等物の 期首残高	98,707	97,589	△1,118
現金及び現金同等物の 期末残高	97,589	43,698	△53,890

新ファミリーコア視聴率（4～49歳）

TBS

(※ [] 内は前年差 単位：%)

	全 日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
T B S	③1.5[0.0]	②3.0 [△0.1]	②3.0 [0.0]	③1.1 [0.0]
日本テレビ	①2.6	①4.6	①4.3	①2.1
テレビ朝日	④1.2	④2.3	④2.3	④0.9
テレビ東京	⑥0.5	⑤1.4	⑤1.3	⑥0.3
フジテレビ	②1.7	②3.0	③2.8	②1.3
N H K	⑤0.7	⑤1.4	⑤1.3	⑤0.5
PUT	9.1[△0.7]	17.1 [△1.2]	16.2[△1.2]	7.1 [△0.5]

(2023/4/3 ～ 2024/3/31 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

(※ [] 内は前年差 単位：%)

	全 日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
T B S	④2.7 [△0.1]	④4.2 [△0.1]	④4.1 [△0.1]	④2.3 [△0.1]
日本テレビ	①3.5	①5.6	②5.2	①3.0
テレビ朝日	①3.5	②5.3	①5.3	①3.0
テレビ東京	⑥1.2	⑥3.1	⑥2.7	⑥0.8
フジテレビ	⑤2.3	⑤3.6	⑤3.5	⑤1.9
N H K	③2.9	③5.0	③4.3	③2.5
PUT	18.8 [△0.8]	31.1 [△1.2]	29.1 [△1.2]	15.9 [△0.6]

(2023/4/3 ~ 2024/3/31 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

タイム・スポット収入 対前年比

TBS

(単位：百万円)

	タイム			スポット				備 考
	2023年度	前年差	増減率	2023年度	前年差	増減率	地区投下 (推計)	
4月	7,229	+193	+2.7%	7,201	△179	△2.4%	△5.0%	タイムは、レギュラーセールス好調。
5月	6,380	△179	△2.7%	6,488	△711	△9.9%	△8.3%	
6月	6,055	+86	+1.4%	5,951	△976	△14.1%	△9.5%	スポットは、市況が落ち込む中、好調だった昨年の反動で減収。
7月	6,388	△2,153	△25.2%	6,270	△326	△5.0%	△11.9%	タイムは、世界陸上オレゴン大会（2022年）の反動で減収。
8月	7,563	+1,609	+27.0%	5,004	△664	△11.7%	△8.9%	タイムは、世界陸上ブダペスト大会（2023年）で増収。
9月	6,941	+893	+14.8%	5,289	△701	△11.7%	△8.4%	タイムは、アジア大会中国・杭州（2023年9月分）で増収。
10月	7,559	+782	+11.6%	6,526	△755	△10.4%	△2.1%	タイムは、アジア大会中国・杭州（2023年10月分）で増収。
11月	6,621	△25	△0.4%	7,260	△548	△7.0%	△6.5%	
12月	7,314	+374	+5.4%	7,218	△442	△5.8%	△5.4%	タイムは、年末年始セールス（12月分）過去最高により増収。
1月	7,047	△32	△0.5%	6,042	△364	△5.7%	△4.3%	タイムは、年始セールス好調も、能登半島地震の影響もあり、減収。
2月	5,640	+87	+1.6%	6,120	△104	△1.7%	△1.4%	
3月	6,848	+38	+0.6%	8,403	+583	+7.5%	+0.1%	
1 Q	19,665	+99	+0.5%	19,641	△1,867	△8.7%	△7.5%	
2 Q	20,893	+349	+1.7%	16,565	△1,691	△9.3%	△9.8%	
3 Q	21,495	+1,132	+5.6%	21,005	△1,746	△7.7%	△4.7%	
4 Q	19,535	+92	+0.5%	20,565	+114	+0.6%	△1.8%	
通期	81,590	+1,674	+2.1%	77,777	△5,191	△6.3%	△5.8%	

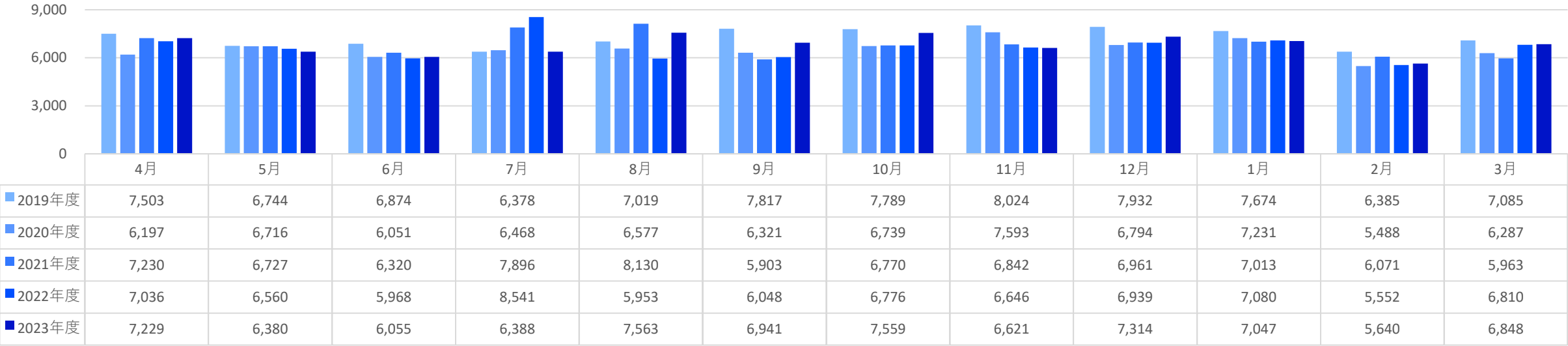
●スポット5局シェア（推計） 四半期推移

2019年度 19.3%（累計）				2020年度 19.7%（累計）				2021年度 20.1%（累計）				2022年度 20.6%（累計）				2023年度 20.5%（累計）			
1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
20.2	19.2	19.0	18.9	20.5	20.2	19.4	19.3	20.4	20.3	19.7	20.0	21.2	20.6	20.9	19.6	20.9	20.6	20.2	20.1

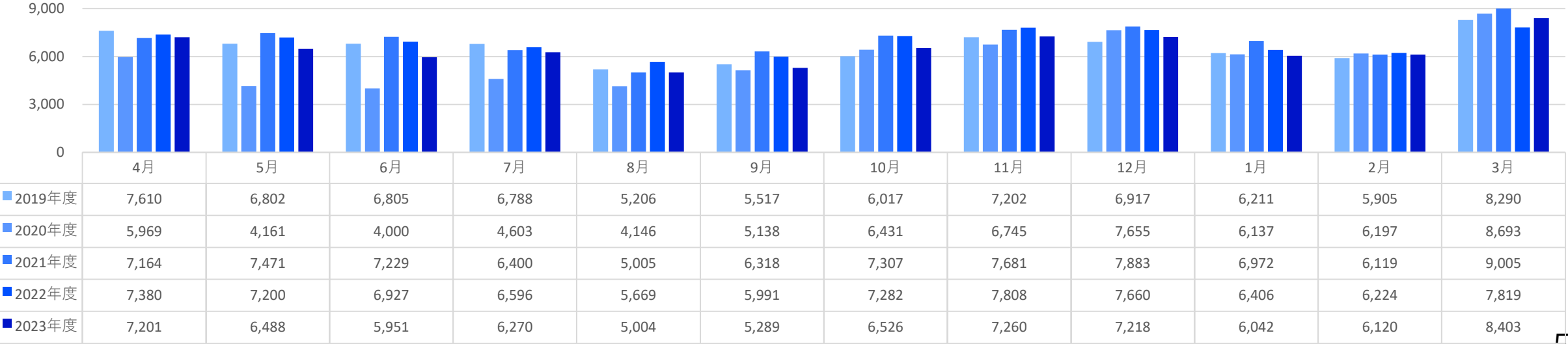
タイム・スポット収入 経年推移

●タイム収入

(単位：百万円)



●スポット収入



(単位：%)

	2023年度	増減率	シェア	2022年度	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	△12.9	16.9	情報・通信・放送	△11.7	18.1
2	酒・飲料	+9.6	10.7	外食・サービス	+25.5	9.3
3	食品	+9.0	9.5	酒・飲料	△11.3	9.2
4	外食・サービス	△15.6	8.4	食品	+1.2	8.2
5	医薬品	+0.9	7.3	医薬品	△4.9	6.8
6	交通・レジャー	+22.6	6.2	金融	△0.6	5.8
7	金融	△15.3	5.3	不動産・建設	+15.2	4.8
8	化粧品・トイレットリー	+9.1	5.1	交通・レジャー	+25.5	4.8
9	エンタテインメント・趣味	+6.7	4.5	化粧品・トイレットリー	△32.6	4.4
10	不動産・建設	△16.1	4.3	自動車・輸送機器	+1.1	4.3

※ 順位は金額順

メディア・コンテンツ/ 不動産・その他 (1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ (13社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) CS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグロウディア

(株) TBSアクト

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント (株)

TBS International, Inc.

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株) マンガボックス

(株) THE SEVEN

ライフスタイル(7社)

(株) スタイルングライフ・ホールディングス

(株) CPコスメティクス

(株) ライトアップショッピングクラブ

(株) やる気スイッチグループホールディングス

(株) やる気スイッチグループ

(株) やる気スイッチキャリア

(株) YPスイッチ

不動産・その他(5社)

赤坂熱供給 (株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

持分法適用(7社)

(株) リトプラ

(株) WOWOW

碧芯珞(上海)化粧品有限公司 / BCL China Inc.

(株) Amazing Sports Lab Japan

(株) YGC

(株) U-NEXT

台灣拓人教育事業股份有限公司